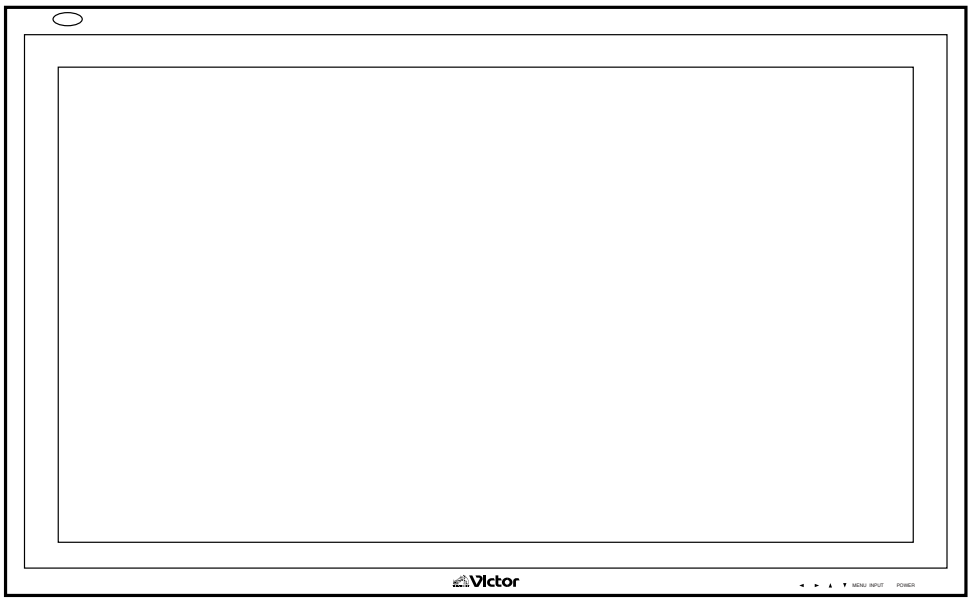
Victor

プラズマディスプレイモニター

型名 **GM-V42**
GM-V42R

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を
よくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、後日調べたいときのために
大切に保存してください。

LCT1388-001D

本機の特長

青色の発色に優れた42型・大型ワイドプラズマパネルを採用

ブラウン管方式に近い美しい色再現が可能です。

ビクター独自の新・高画質化回路搭載

デジタル表示素子特有の“疑似輪郭妨害”を低減した、ビクター独自の新・高画質化回路を搭載しました。きわめて自然な映像再生が可能です。

ホワイトバランス調整機能を搭載

プラズマディスプレイモニターにRGB各色256階調のホワイトバランス調整機能を搭載しました。

次世代放送方式DTV（デジタルテレビ）の主要な方式に対応

次世代放送方式のフォーマットを自動的に判断し、表示します。
DTV対応フォーマット：480i、576i、480p、576p、720/60p、1080/60i（1035/60i）、1080/50i

ピクセルシフト機能を搭載

静止画を長時間表示していても、一定時間で描画位置を移動させ、“焼き付き”を軽減します。

全色反転モード（カラーリバース機能）を搭載

「カラーリバース機能」を使用することによって、プラズマディスプレイモニター特有の残像現象を軽減します。

アワーメーター

使用時間を確認することができますので、保守点検作業にご利用いただけます。

自己診断表示機能を搭載

プラズマディスプレイモニターに不具合が発生しても、自己診断回路がその原因を自己診断し、表示します。

目　　次

はじめに

本機の特長 2
安全上のご注意 4
その他のご注意 8
お手入れのしかた 8
各部の名称 9
本体前面 9
本体背面（左側） 10
本体背面（右側） 11
リモコン 12

準　備

付属品を確かめる 13
フェライトコアの取り付けかた 13
電池の入れかた 13
設置する 14
設置するときの注意 14
接続する 15
本機で再生できる信号について 15
接続例 16
外部制御機器の接続 18
冷却ファンの取り付け 18

操　作

基本の操作 19
画面サイズの切り換え 20
映像調節 21
画質を調節する 21
画面の大きさ／位置を調節する 23
色温度を選ぶ 25
アスペクトを切り換える（画面サイズ） 25
入力信号の種類を設定する 26
COMPONENT/RGB B入力端子を設定する 26
RGB B入力端子の終端抵抗値を変更する 27
変更した設定をリセットする 27
各種設定 28
画面表示を出す 28
入力切り換え時に画面表示を出す 29
本体のボタン操作を禁止する 29
外部制御時の入力切り換えを設定する 29
ハイビジョン信号の設定をする 30
ホワイトバランスを調節する 31
現在時刻とタイマーを設定する 32
画面の焼き付きを軽減する 33
省電力設定にする 34
焼き付きなどの残像現象を軽減する 35
変更した設定をリセットする 38
変更した設定を全てリセットする 39
合計使用時間と機種名を確認する 39

その他

故障かな?と思ったら 40
自己診断表示 41
メニューの構成 42
メインメニュー一覧 42
セットアップメニュー一覧 44
保証とアフターサービス 46
仕様 47
MAKE端子と外部制御機器の接点について 50

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。
これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告 この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

⚠注意 この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意　感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止　水場での使用禁止　ぬれ手禁止
分解禁止　接触禁止　水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

電源プラグを抜く　一般的指示
アース線をつなぐ

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときは

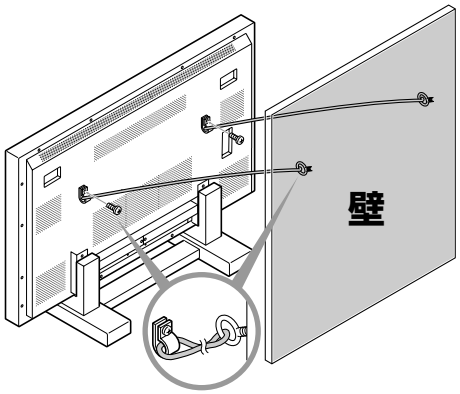
- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- プラズマディスプレイモニターの内部に水や物が入ってしまったとき。
- プラズマディスプレイモニターを落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

転倒・落下防止の処置をしてください

地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。
詳しくは販売店にご相談ください。

プラズマディスプレイモニターの設置にはオプションのユニットが必要です。設置は必ず「取付工事専門業者」にご依頼ください。



⚠警告　設置するときの警告

● 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

● プラズマディスプレイモニターの荷重に耐えられない場所には設置しない

プラズマディスプレイモニターの荷重に耐えられない場所には設置しないでください。設置場所の強度が弱いと、落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

● プラズマディスプレイモニターの通風孔（排気口・吸気口）をふさがない

通風孔（排気口・吸気口）をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となります。
次のことにご注意ください。
・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
・じゅうたんや布団などの上に置かない
・テーブルクロスなどを掛けない
・横倒し、逆さま、あお向けにしない

● 専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない

専門の知識や技術が必要です。設置工事（天井などへの取り付け）は必ず販売店（専門の技術者）にご依頼ください。専門の知識や技術のないかたが行なうと、けがや感電をする原因となります。

● 指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 壁や他の機器と間隔をあけて設置する

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
次のことに注意してください。
・壁や家具などから離す（14ページ）
・他の機器との間隔をあける

⚠注意　設置するときの注意

● 次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
・湿気やほこりの多いところ
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところ
・熱器具の近く
また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットが変質することがあります。

● 機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつなぐ

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、プラズマディスプレイモニターの電源コードはプラズマディスプレイモニター本体につないでから、壁のコンセントに差し込んでください。

● 電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜く

壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。
電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、プラズマディスプレイモニター本体側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグをもって抜いてください。

● 移動するときは接続コード類を外す

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなどを外してください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。
また、プラズマディスプレイモニターは重いので、バランスに気をつけて持ってください。けがの原因となることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。

安全上のご注意（つづき）

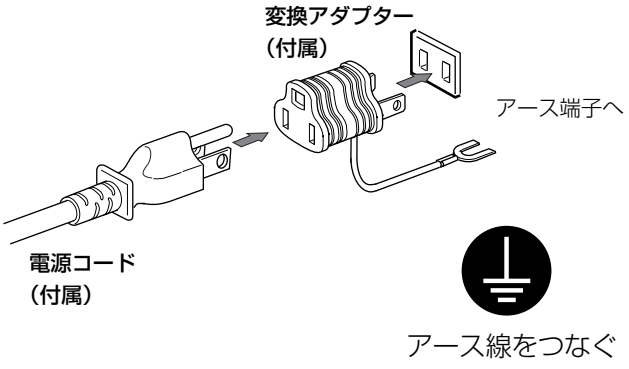
● 安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。

・**電源コンセントが3極の場合**
付属の電源コードを接続すると、安全アースも接続されます。

・**電源コンセントが2極の場合**
付属の変換アダプターをつなぎ、変換アダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子につないでください。

・アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



⚠警告　使用するときの警告

● プラズマディスプレイモニター内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。

● プラズマディスプレイモニターに水をかけない

公衆浴場、温泉、風呂場などでは使用しないでください。水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、プラズマディスプレイモニターの上に置かないでください。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは特にご注意ください。

● 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。

● 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。電源コードを傷つけると、火災・感電の原因となります。
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● プラズマディスプレイモニターのキャビネットやカバーは外さない

プラズマディスプレイモニター内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。

● プラズマディスプレイモニターを改造しない

火災・感電の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意　使用するときの注意

● **プラズマディスプレイモニターの上に物を置かない**

重いものやプラズマディスプレイモニター本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

● **プラズマディスプレイモニターの上に乗らない、ぶら下がらない**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

● **電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む**

ショートや発熱により、火災や感電の原因となることがあります。

● **根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない**

発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● **電源プラグはコードの部分を持って抜かない**

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。
プラグの部分を持って抜いてください。

● **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● **長期間プラズマディスプレイモニターを使用しないときは、電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

● **お手入れをするときは電源コード（電源プラグ）を抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

● **乾電池の使い方に注意する**

乾電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。
もし液がもれた場合は電池ケースについた液をよく拭き取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる
- 指定された電池以外は使わない
- 電池（電池ケース）のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておく

● **3年に一度はプラズマディスプレイモニター内部の掃除を販売店に依頼する**

プラズマディスプレイモニターの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

● **OPTION端子について**

OPTION端子は冷却ファン取り付け専用です。ビクター推奨のオプション品を接続してください。

その他のご注意

画面の焼き付きについて

● **同じ静止画像を長時間映したり、異常に明るい画像は映さない**

高輝度な画面や高コントラストな画面を持つ映像などは映さないでください。画面に画像が焼き付くことがあります。

特にビデオゲームやコンピュータープログラム画面などの静止画像には注意してください。

通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

残像について

● 静止画を長時間表示していると電源を切ったり、画面を切り換えても映像がぼんやりと映っていることがあります。（しばらくすると消えます。）これはプラズマディスプレイモニターの特性で、故障ではありません。

赤外線を使用した機器への 妨害について

● 本機から赤外線が出るため、赤外線リモコンを使用した機器の誤動作が発生したり、赤外線ワイヤレスマイク・ヘッドホンなどに雑音が入ることがあります。このような場合は影響の出ない位置まで離してください。

見る場所（部屋の明るさ）について

● **部屋の明るさは**

直射日光や照明が画面に直接あたらないように、カーテンなどでさえぎってください。部屋の明るさは、暗くすることにより、より良い映像でご覧いただけます。

● **連続して長時間、画面を見ない**

連続して長い時間、画面を見ることは目を疲れさせますのでよくありません。ときどき目を休めてください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

お手入れのしかた

● **キャビネットの汚れは**

柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

● **キャビネットが変質したり、傷付いたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。**

・ 堅い布で拭かない
・ 強く拭かない
・ シンナーやベンジンで拭かない
・ 殺虫剤など揮発性のものをかけない
・ ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

● **画面の汚れは**

柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭いてください。

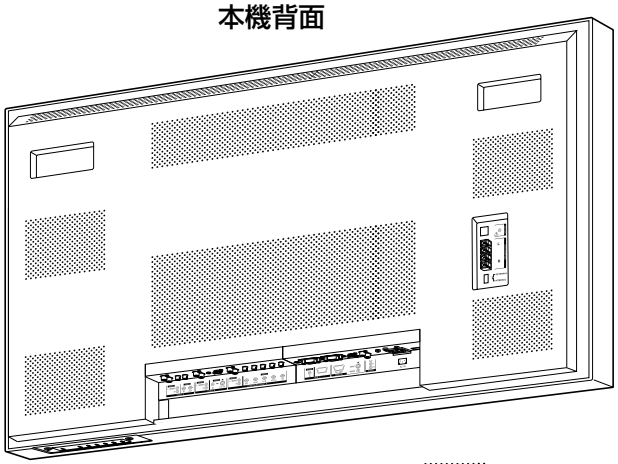
ホコリなどが付着するときは、市販の静電気防止剤を、柔らかい布に少量スプレーしたあと軽く拭いてください。

・ アルコール、アセトンなどの有機溶剤は使わない
・ アルカリ洗剤、酸性洗剤は使わない

● **通風孔に付着したホコリは**

本機背面の通風孔に付着したホコリは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときは、布で拭き取ってください。通風孔にホコリなどが付着したまま放置すると内部の温度が調節できなくなり、故障などの原因となることがあります。

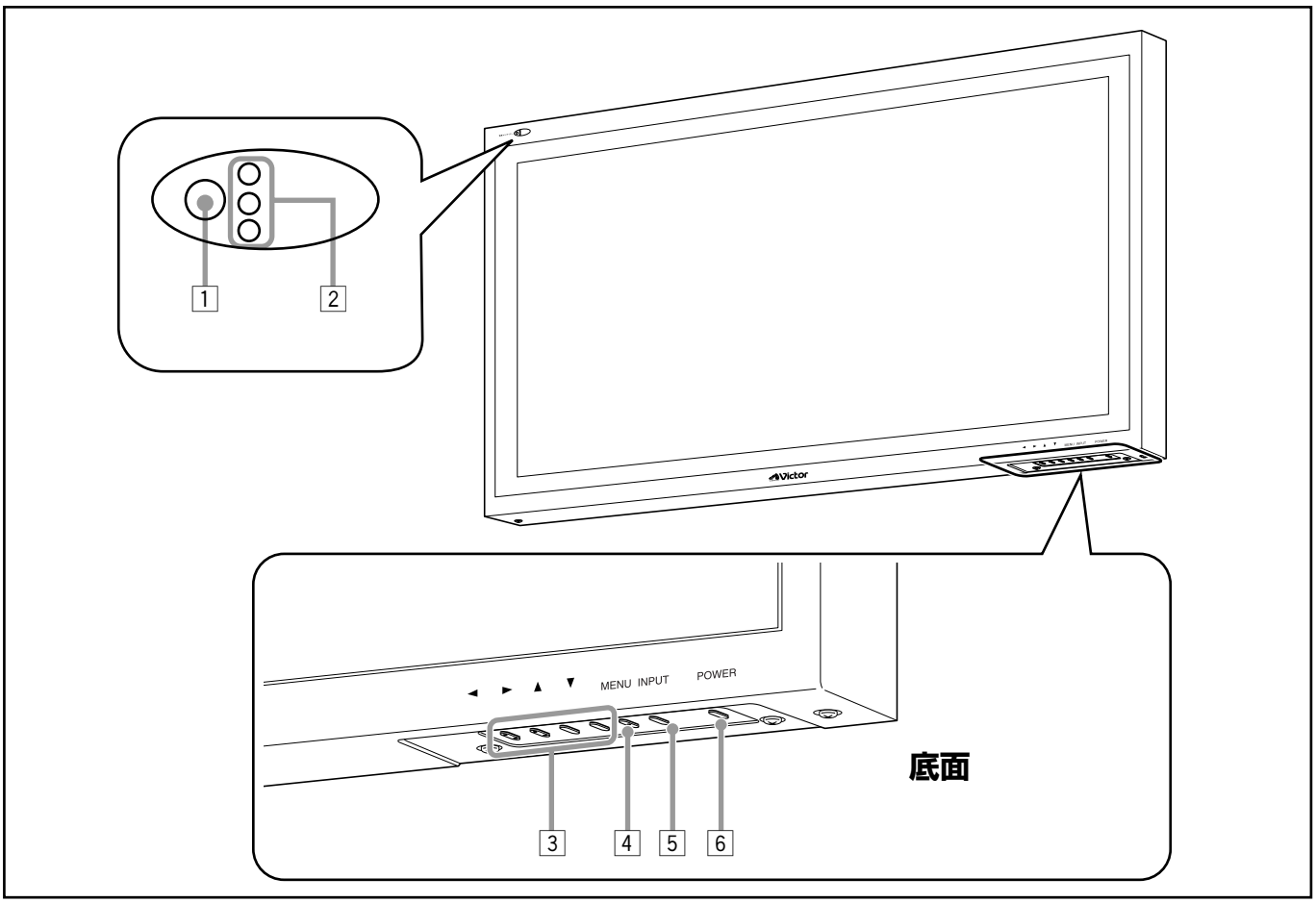
本機背面



：通風孔

各部の名称

本体前面



1 **リモコン受光部／電源ランプ（19ページ）**
ワイヤレスリモコンの先端をここに向けます。
また、本体の電源が入っているときには、電源ランプが緑色に、スタンバイモードのときはオレンジ色に点灯します。

2 **自己診断ランプ（41ページ）**
本機に異常が起きたときに、点灯／点滅します。

3 **カーソル◄／►／▲／▼ボタン**
メニュー項目を選んだり、調節するときに使います。
また、メニューが表示されていないときは、◄／►ボタンで音量を調節できます。（19ページ）

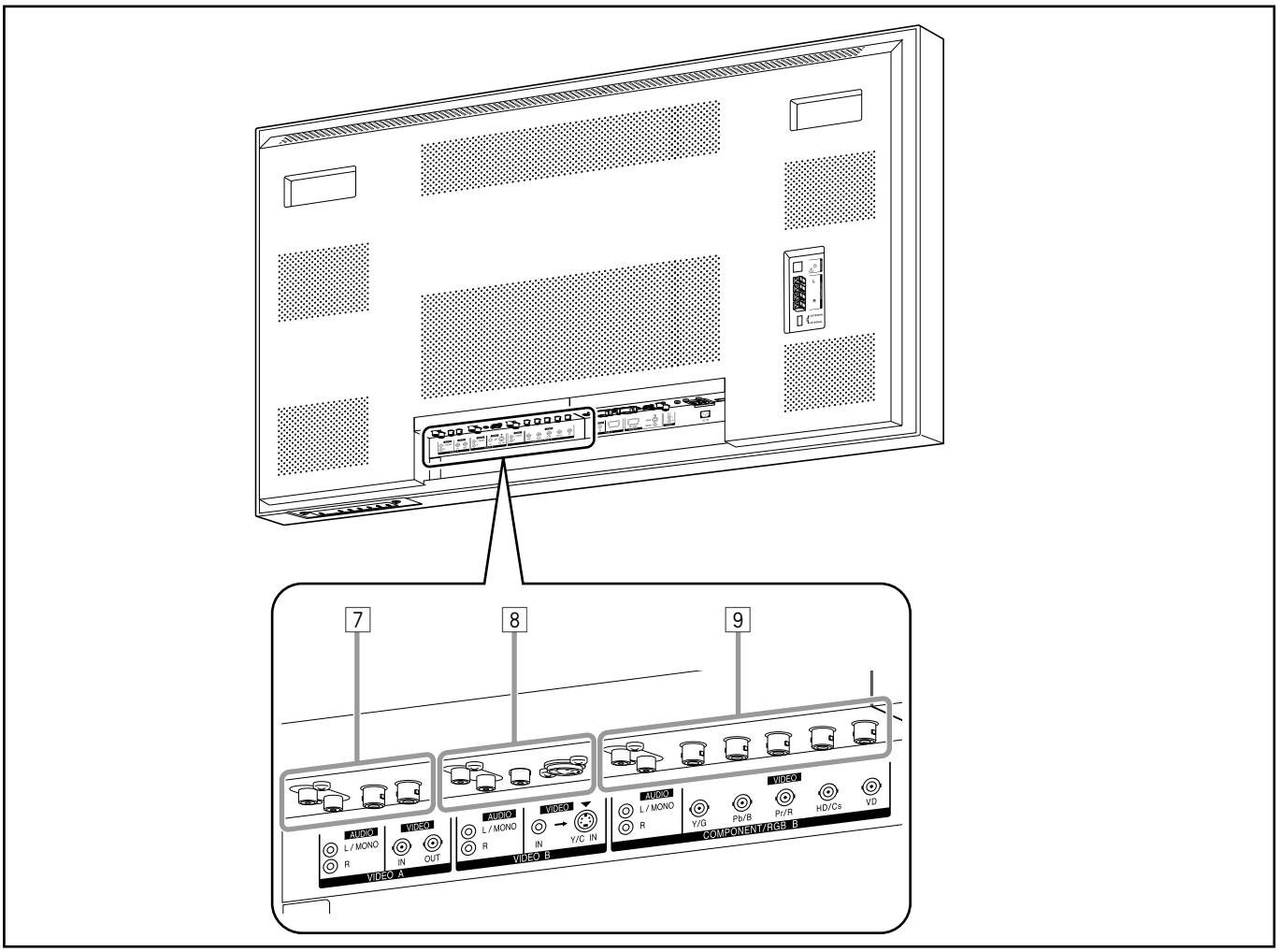
4 **MENU（メニュー）ボタン**
メニューを表示したり、消したりするときに使います。
サブメニューが表示されているときは、1つ前のメニュー画面に戻ります。

5 **INPUT（入力切り換え）ボタン（19ページ）**
入力を切り換えるときに使います。

- COMPONENT入力とRGB B入力は、メニューの「RGB/COMPO.」で設定されている入力が選ばれます。（26ページ）

6 **POWER（電源）ボタン（19ページ）**
背面のPOWER（主電源）スイッチが「**I**（ON）」のときに、本機の電源を「入／切」します。

本体背面（左側）



7 VIDEO A（ビデオA）端子（16ページ）

AUDIO L/MONO、R（音声）入力端子（ピンジャック）

ビデオデッキなどの音声出力端子とつなぎます。

音声がモノラルのときにはL/MONO側だけに接続します。

VIDEO IN（映像入力）端子（BNC）

ビデオデッキなどの映像出力端子とつなぎます。

VIDEO OUT（映像出力）端子（BNC）

他のモニターなどの映像入力端子とつなぎます。

- 映像入力端子と映像出力端子はブリッジ接続されています。映像出力端子に接続した機器で正しく終端されていないと、映像が明るくなったり、画面が異常となります。

8 VIDEO B（ビデオB）端子（16ページ）

AUDIO L/MONO、R（音声）入力端子（ピンジャック）

ビデオデッキなどの音声出力端子とつなぎます。

音声がモノラルのときにはL/MONO側だけに接続します。

VIDEO IN（映像入力）端子（ピンジャック）

ビデオデッキなどの映像出力端子とつなぎます。

S映像（Y/C）入力端子と同時に使うときは、S映像（Y/C）端子の映像が優先され画面に映ります。

Y/C IN（S映像）入力端子（Y/C）

ビデオデッキなどのS映像（Y/C）出力端子とつなぎます。

9 COMPONENT/RGB B（コンポーネント/RGB B）入力端子（16ページ）

AUDIO L/MONO、R（音声）入力端子（ピンジャック）

外部機器の音声出力端子とつなぎます。

音声がモノラルのときにはL/MONO側だけに接続します。

Y、Pb、Pr（コンポーネント）/G、B、R、HD/Cs（水平同期信号／複合同期信号）、VD（垂直同期信号）*1入力端子（BNC）

コンポーネント信号出力端子またはアナログRGB信号、水平同期信号／複合同期信号、垂直同期信号の出力端子とつなぎます。*2

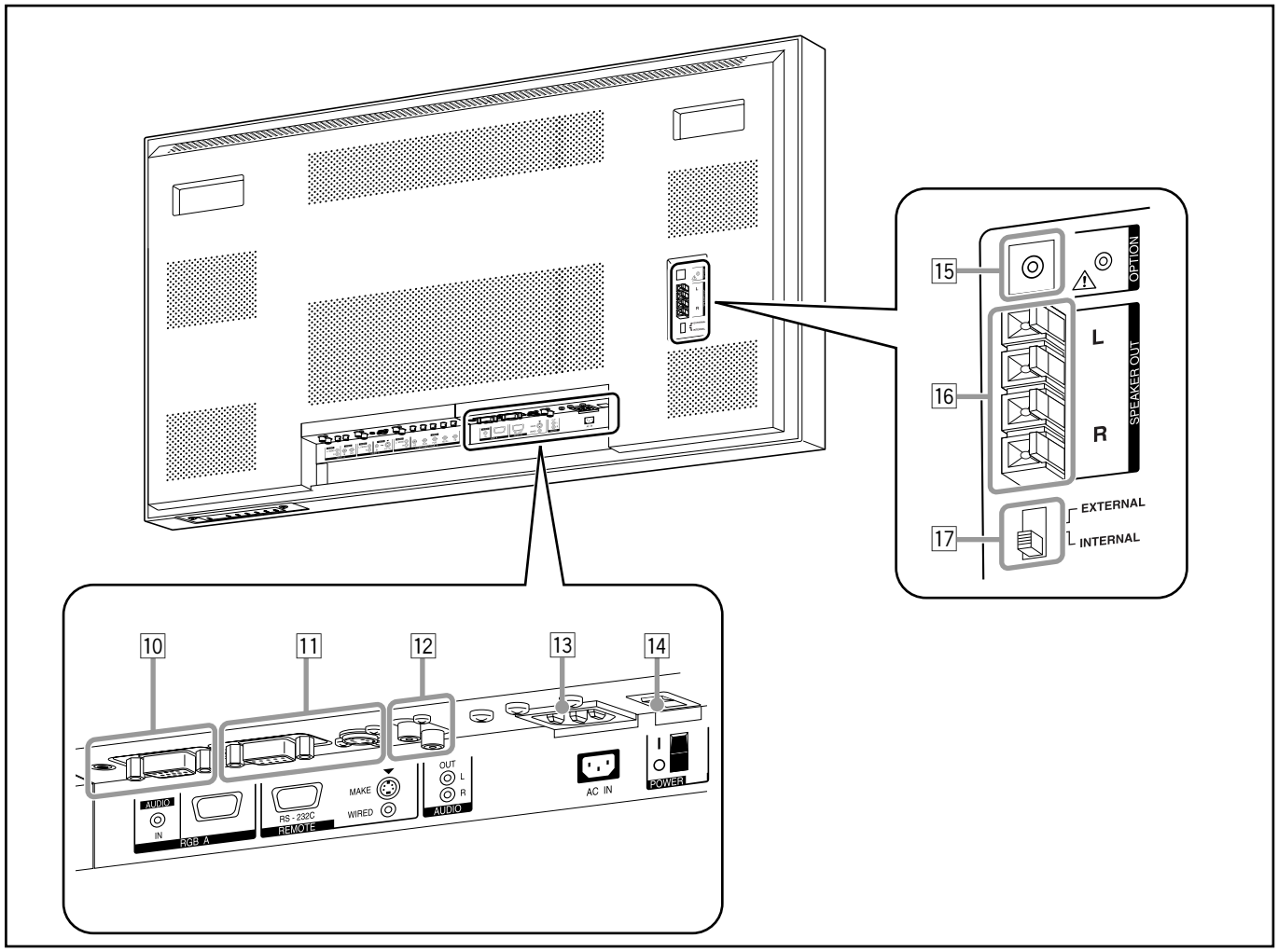
*1 外部同期信号の入力は自動検出します。
HD/VD信号またはCs信号が検出されると、外部同期に切り換わります。優先順位はHD/VD＞Csの順です。

*2 メニューの「RGB/COMPO.」で「COMPO.」または「RGB」を選びます。（26ページ）

お知らせ

- 「COMPO.」を選択したときは、外部同期は動作しません。

本体背面（右側）



10 RGB A 端子（17ページ）

入力端子（D-sub 15ピン）

パソコンのモニター出力端子とつなぎます。

お願い

●接続するケーブルの長さはできるだけ短かいケーブルを使用してください。（3m以内でご使用ください。）

AUDIO IN（音声入力）端子（ステレオミニジャック）

パソコンの音声出力端子とつなぎます。

11 REMOTE端子（17ページ）

RS-232C CONTROL（RS232Cコントロール）入力端子（D-sub 9ピン）

パソコンのRS-232C端子とつなぎます。
この端子を使った制御法については、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

MAKE端子（ミニDIN 4ピン）

本機を外部から操作するための端子です。18ページの「外部制御機器の接続」と、50ページの「MAKE端子と外部制御機器の接点について」もよくお読みください。

WIRED端子（ステレオミニジャック）入力端子

リモコンをつなぎます。

12 AUDIO OUT（音声出力）端子（ピンジャック）（17ページ）

オーディオアンプなどの音声入力端子とつなぎます。

13 AC IN（電源入力）（100V）端子（17ページ）

付属の電源コードをつなぎます。

14 POWER（主電源）スイッチ（19ページ）

「**I**（ON）」にすると、リモコンや本体底面のPOWERボタンで本機の電源を「入／切」できます。

15 OPTION 端子（18ページ）

本機を縦型で使用するときに、冷却ファンを接続します。

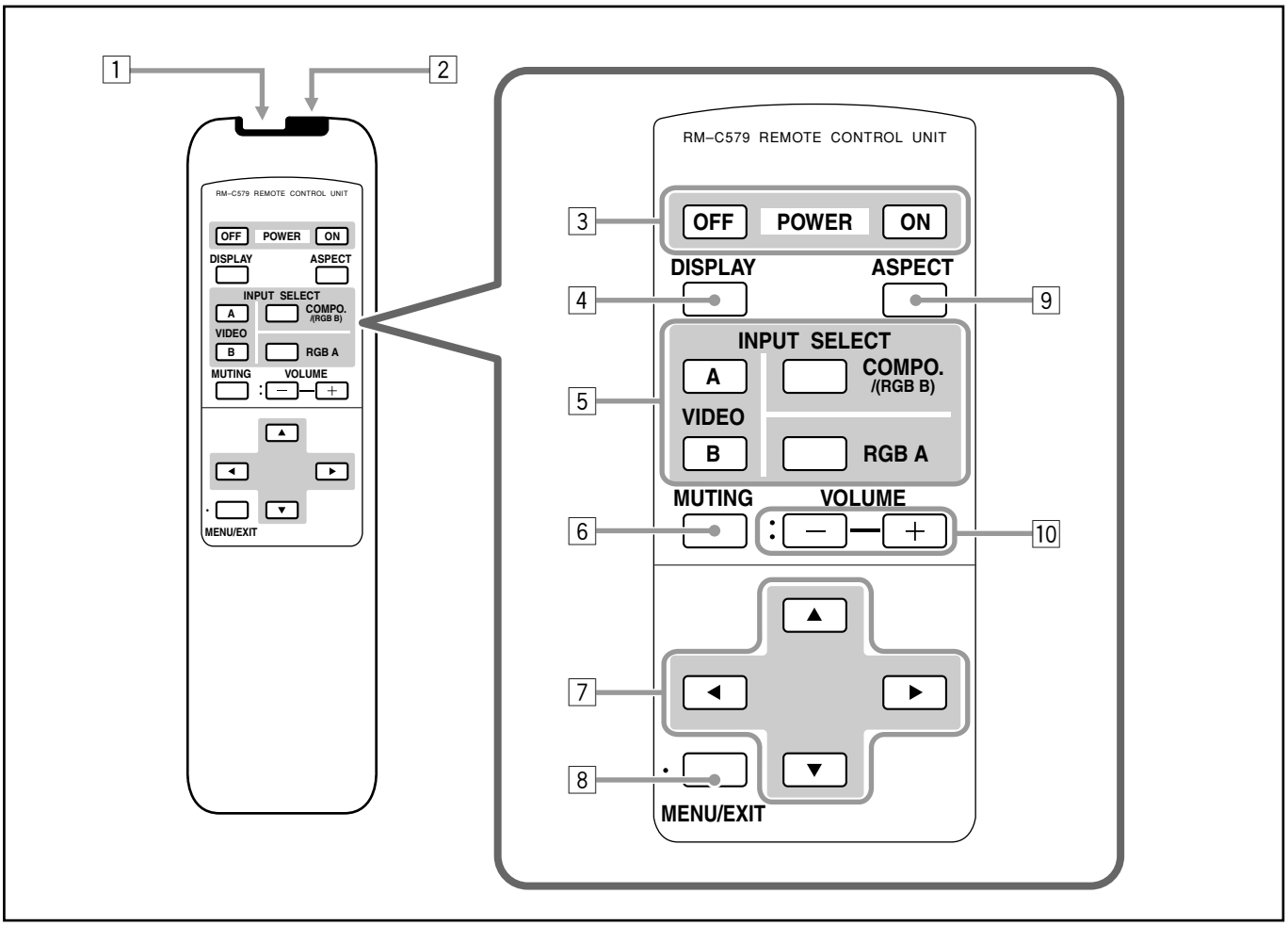
16 SPEAKER OUT（スピーカー出力）端子（17ページ）

ビクター製の専用スピーカー（別売り）などの外部スピーカーをつなぎます。

17 INTERNAL/EXTERNAL（内蔵スピーカー/外部スピーカー）切換スイッチ （17ページ）

外部のスピーカーを使うときに切り換えます。
INTERNAL側： 内蔵スピーカーから音声が聞こえます。
EXTERNAL側： 外部スピーカーから音声が聞こえます。

リモコン



1 ワイヤードリモコン出力端子（17ページ）
リモートケーブル（別売）をつないで、ワイヤードリモコンとして使用するときに使います。

2 リモコン送信部

3 POWER ON/OFF（電源オン／オフ）ボタン（19ページ）
背面のPOWER（主電源）スイッチが「**I**（ON）」のときに、本機の電源を「入／切」します。

4 DISPLAY（画面表示）ボタン（19ページ）
入力端子と、カラー方式（VIDEO A、B入力のとき）、走査方式（COMPONENT入力のとき）、水平／垂直周波数（RGB A、RGB B入力のとき）を表示するときに使います。

5 INPUT SELECT（VIDEO A、VIDEO B、COMPO./(RGB B)、RGB A）ボタン（19 ページ）
入力を切り換えるときに使います。
- COMPO./(RGB B)ボタンではメニューの「RGB/COMPO.」で設定されている入力が選ばれます。（26 ページ）

6 MUTING（消音）ボタン（19ページ）
音声を消すときに使います。
もう一度押すと音声が聞こえるようになります。

7 カーソル（▲／▼／◄／►）ボタン
メニュー項目を選んだり、調節するときに使います。

8 MENU/EXIT（メニュー／エグジット）ボタン（21ページ）
メニューを表示したり、消したりするときに使います。
サブメニューが表示されているときは、1つ前のメニュー画面に戻ります。

9 ASPECT（画面サイズ切り換え）ボタン（20ページ）
画面のアスペクトを切り換えるときに使います。
押すたびに以下のように切り換ります。

REGULAR → FULL → ZOOM → PANORAMIC →

10 VOLUME（音量）＋／－ボタン（19ページ）
音量を調節するときに使います。

付属品を確かめる

本機には次の付属品が梱包されています。付属品をご確認ください。
万一、不足しているものがございましたら、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡ください。

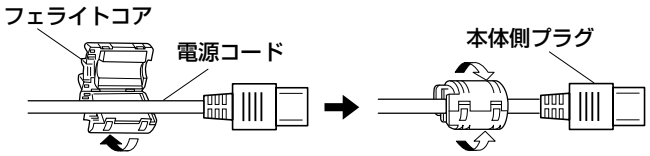
リモコン（RM-C579） 1
電源コード 1
変換アダプター （3極－2極） 1
フェライトコア 1
単3電池 2

お知らせ

● 本機には付属品の他に、取扱説明書（本書）や保証書、サービス窓口案内が添付されています。ご確認ください。

フェライトコアの取り付けかた

フェライトコアを電源コードに必ず取り付けてください。フェライトコアを取り付けないと、外部機器の影響により画面にノイズが出ることがあります。
右図のようにフェライトコアを電源コードの本体側に取り付けます。

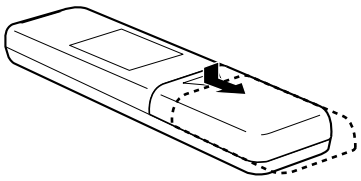


電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れてください。また、リモコンが正常に働かなくなったら、乾電池を交換してください。

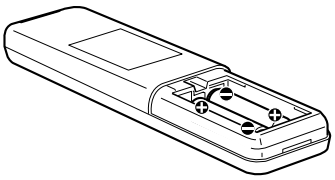
1 裏ぶたを開けます。

つまみを押しながら矢印の方向に開けます。



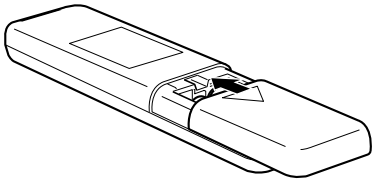
2 乾電池を入れます。

付属の乾電池（単3形）2本を＋、－ の表示どおり入れます。



3 裏ぶたを閉めます。

裏ぶたを「カチッ」という音がするまで閉めます。



乾電池の使いかたに注意

お願い

電池は間違った使いかたをすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。
次のことにご注意ください。

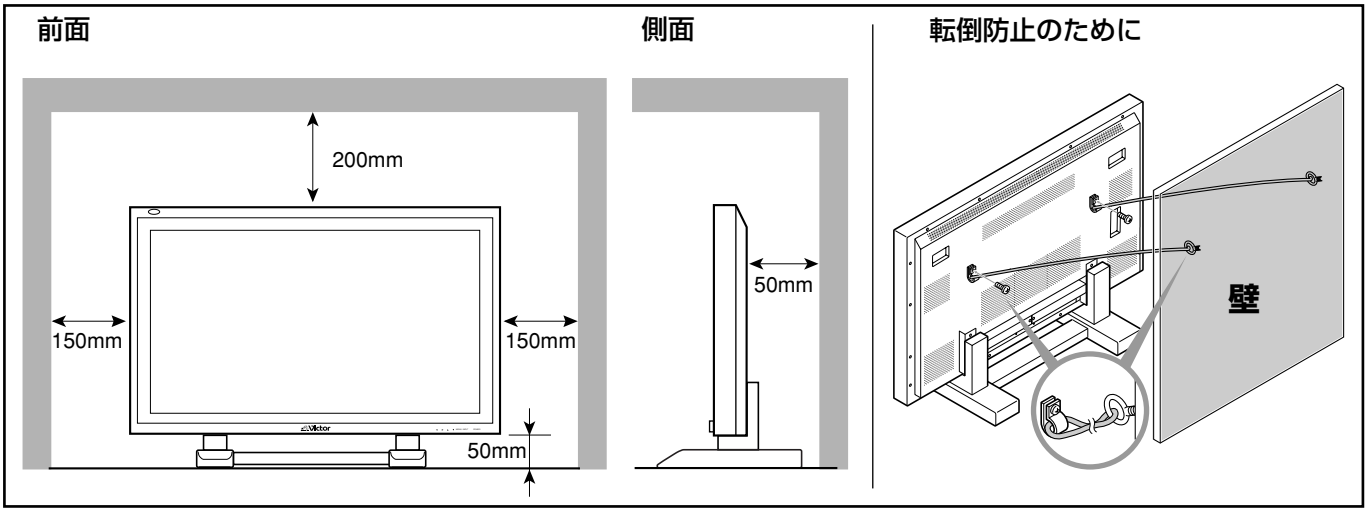
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので種類の違う電池は混ぜて使わない。
- 電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる。
- 乾電池を入れるときは、ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス（－）側を先に入れる。
- 指定された電池以外は使わない。
- 長期間使用しないときには、乾電池を取り出しておく。
- 乾電池が消耗して使えなくなったときは、すぐに取り出して交換してください。液漏れの原因になったり、液漏れによって故障の原因となることがあります。また、漏れた液が肌に触れるなどしたときは、布で拭き取ります。そのままにしておくと、肌が荒れる原因となることがあります。
- 乾電池を火の中へ入れたり、充電したりしない。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年間使えますが、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら、新しい乾電池に交換してください。

設置する

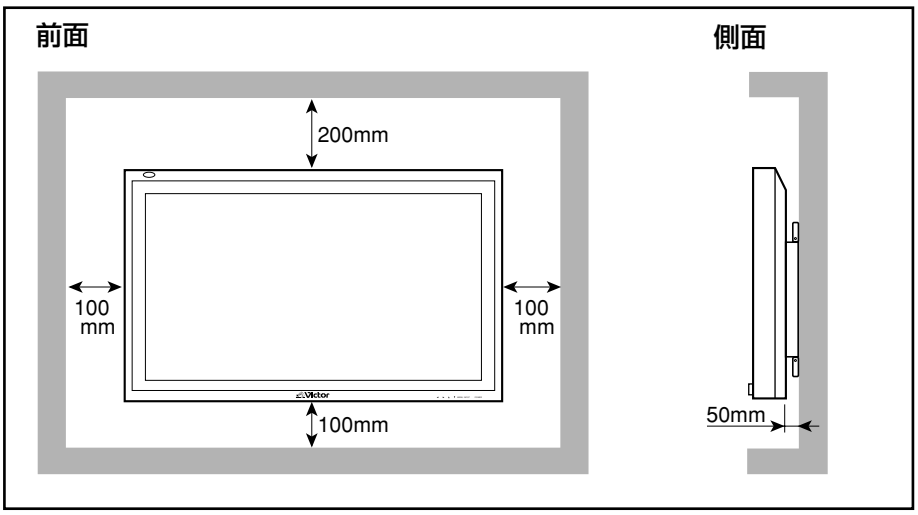
設置するときの注意

- **プラズマディスプレイモニターを縦型で使用するときは、放熱をよくするため、冷却ファンを取り付けます。(18ページ)**
- プラズマディスプレイモニターを据え付けるときは、専用のスタンド、壁掛け金具、天吊り金具などを必ず使用してください。据え付けは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- プラズマディスプレイモニターを据え付けるときは、各オプションの取付説明書をご覧ください。また、左右及び背面方向へは傾けて設置しないでください。
- 電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配線してください。
- 放熱をよくするため、周囲には下図の空間距離(最低距離)を保つようにしてください。
- 設置場所によっては(天井の近くなど)、周囲の影響を受け、正しくリモコン操作ができないことがあります。このようなときはリモコンをリモートケーブル（別売）で本体につないで操作するか、影響のでない場所に移動してください。
- 据え付け場所の周囲温度は、0℃～40℃の範囲で使用してください（設置環境により多少異なります）。

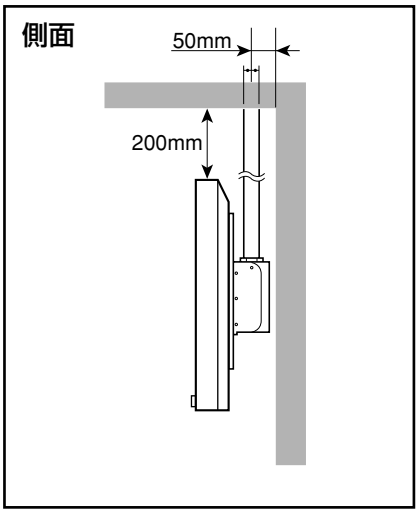
スタンドに設置するとき



壁に掛けるとき



天井から吊るすとき



お知らせ

- 長時間、連続して同一画像(パターン)を表示しないでください。長時間同一画像を表示したときはその部分の輝度が変化し、画面の一部に残像として見えることがあります。
  残像を軽減するには、ピクセルシフト機能（33ページ）やカラーリバース機能（35ページ）を利用すると効果的です。
- プラズマディスプレイモニターは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99%以上の有効画素がありますが、ほんのわずかの画素欠けや常時点灯するものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 他のAV機器と相互に悪影響を与える設置はしないでください。
  (例えば、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作などが発生したときは設置場所を変えてください。)

接続する

本機で再生できる信号について

本機では次のような信号を入力・再生できます。

ビデオ信号

VIDEO A、VIDEO B端子：NTSC

COMPONENT/RGB B端子*1：480i、576i、480p、576p、720/60p、1080/60i*2（1035/60i*2）、1080/50i

*1 メニューの「RGB/COMPO.」を「COMPO.」に設定してください。

*2 アナログハイビジョン用（1035i）またはデジタルハイビジョン用（1080i）の設定を選べます。アナログ放送のハイビジョン信号のときは、垂直サイズを調節してください。

コンピューター信号（初期設定）

RGB A、COMPONENT/RGB B*3入力端子には、下表に示す信号を入力・再生できます。

*3メニューの「RGB/COMPO.」を「RGB」に設定してください。

	名称	解像度		水平周波数	垂直周波数	走査方式
		水平	垂直	(kHz)	(Hz)	
1	PC98	640	400	24.8	56.4	ノンインタレース
2	VGA400-70	640	400	31.5	70.1	ノンインタレース
3	VGA480-60	640	480	31.5	59.9	ノンインタレース
4	VGA480-72	640	480	37.9	72.8	ノンインタレース
5	VGA480-75	640	480	37.5	75.0	ノンインタレース
6	WVGA-60	852	480	31.7	60.3	ノンインタレース
7	MAC13インチ	640	480	35.0	66.7	ノンインタレース
8	SVGA-56	800	600	35.2	56.3	ノンインタレース
9	SVGA-60	800	600	37.9	60.3	ノンインタレース
10	SVGA-72	800	600	48.1	72.2	ノンインタレース
11	SVGA-75	800	600	46.9	75.0	ノンインタレース
12	XGA-60	1024	768	48.4	60.0	ノンインタレース
13	XGA-70	1024	768	56.5	70.1	ノンインタレース
14	XGA-75	1024	768	60.0	75.0	ノンインタレース
15	XGA-85	1024	768	68.7	85.0	ノンインタレース
16	XGA+-75	1152	864	67.5	75.0	ノンインタレース
17	RGB15K-60	—	—	15.7	59.9	インタレース
18	RGB15K-50	—	—	15.6	50.0	インタレース

お知らせ

- 上記以外の信号を入力したとき、画面の一部が欠けたり、不要な画面が出ることがあります。
- 入力可能な周波数範囲内の信号でも、信号の種類によっては正常に映らないことがあります。
- 接続機器により複合同期（Cs）、G on sync信号には対応しないことがあります。
- 初期設定に登録された信号を入力したときは、画面に表示される垂直周波数の右肩に「*」が付きます。
- No.6の信号を入力するときは、リモコンのASPECTボタン（20ページ）で画面サイズを「FULL」に切り換えてお使い下さい。
  メインメニューの「FUNCTION SELECT」から切り換えることもできます。（25ページ）
- No.8～No.16の信号は、解像度が本機のパネルの解像度より高いため、細かい線が見えにくくなることがあります。

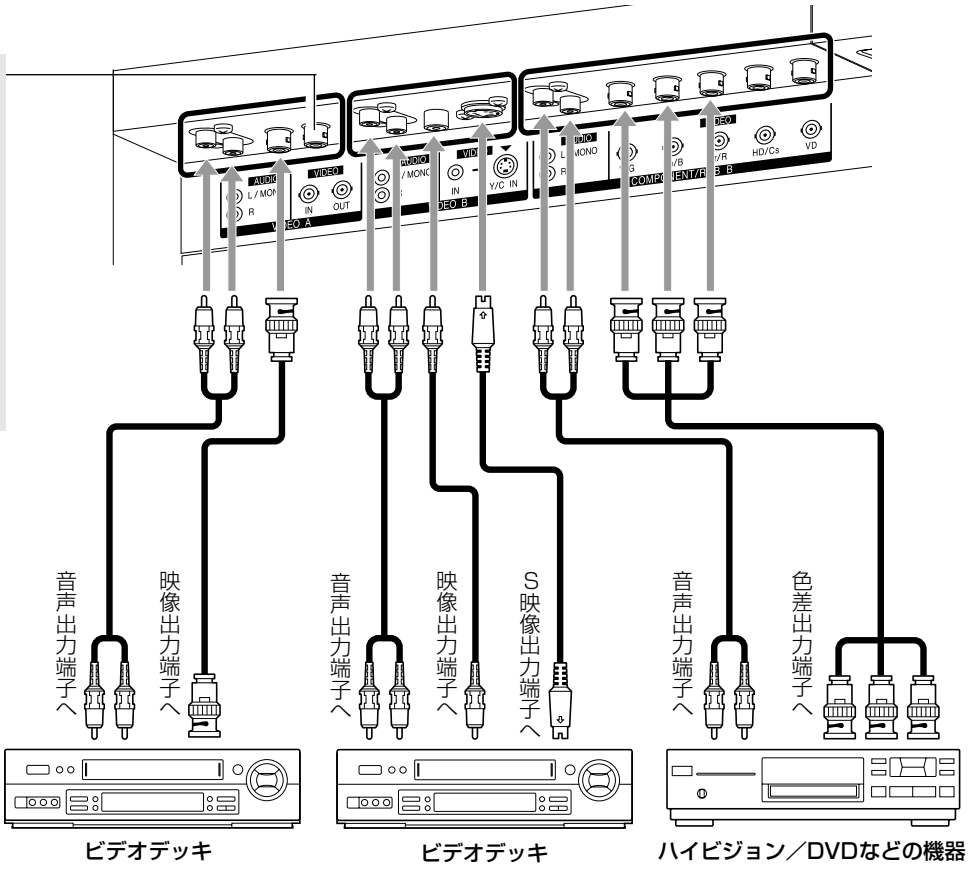
接続例

接続時のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードは他のすべての接続が終わってからつないでください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。

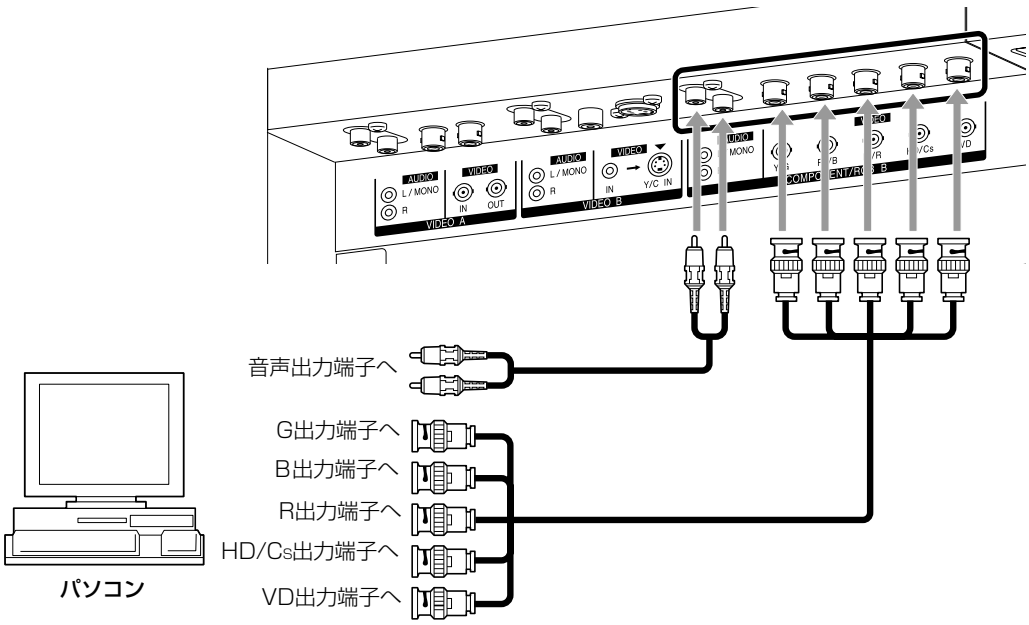
本体背面（左側）

VIDEO A出力端子
他のモニターなどの映像入力端子とつなぎます。
同じビデオデッキに入力と出力の両方の端子を接続しないでください。ビデオデッキの入力を切り換えたときに映像が乱れることがあります。



RGB B端子の接続

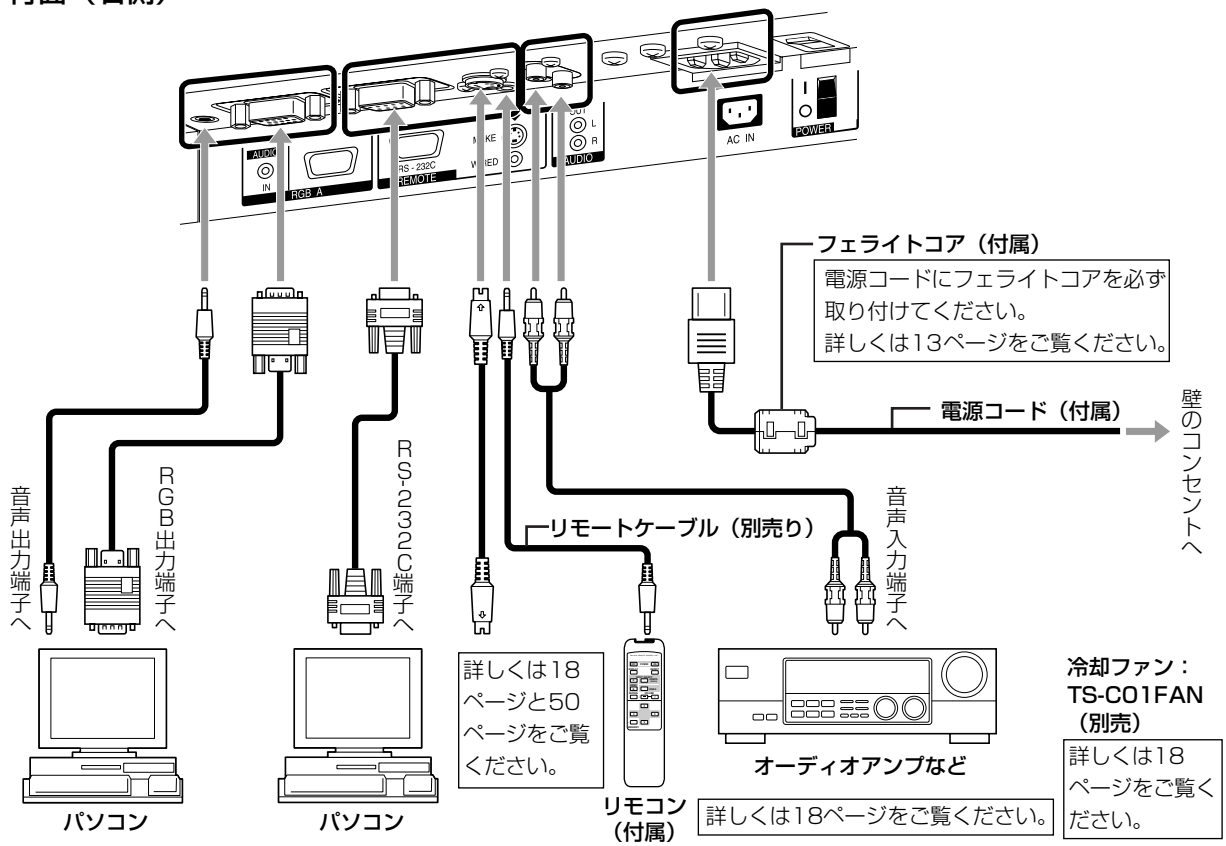
COMPONENT/RGB B端子をRGB B端子として利用するときは、メニューの「RGB/COMPO.」で「RGB」を選びます。



接続時のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードは他のすべての接続が終わってからつないでください。
- 各機器の取扱説明書もご覧ください。

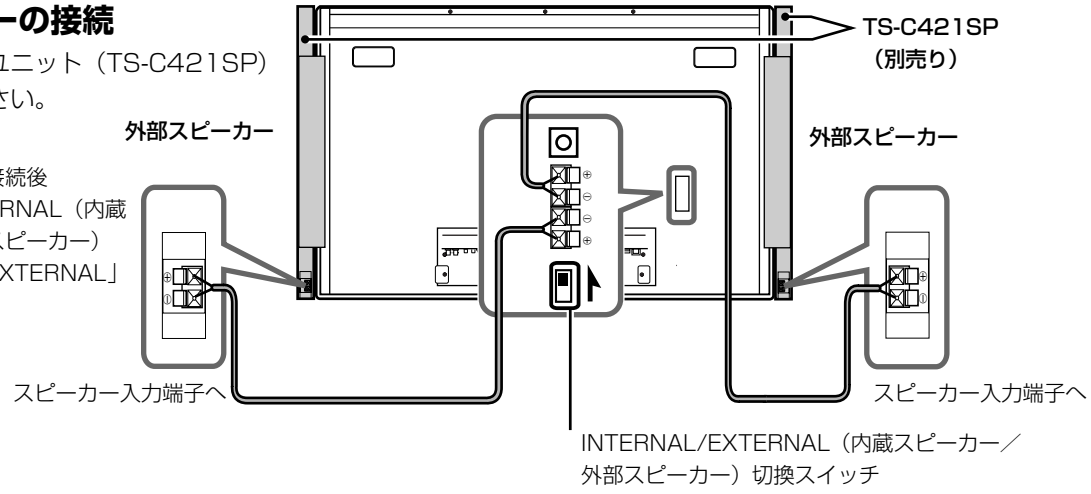
本体背面（右側）



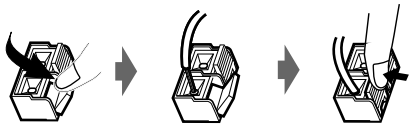
外部スピーカーの接続

別売りスピーカーユニット（TS-C421SP）をお買い求めください。

- 外部スピーカーの接続後 INTERNAL/EXTERNAL（内蔵スピーカー／外部スピーカー）切換スイッチを「EXTERNAL」に合わせます。



スピーカーコードをつなぐ



お知らせ

- 外部スピーカー端子には、別売りスピーカーユニット（TS-C421SP）以外のスピーカーもご利用になれます。
  （インピーダンス6Ω～8Ω、定格入力3W以上のスピーカーをご使用ください。）

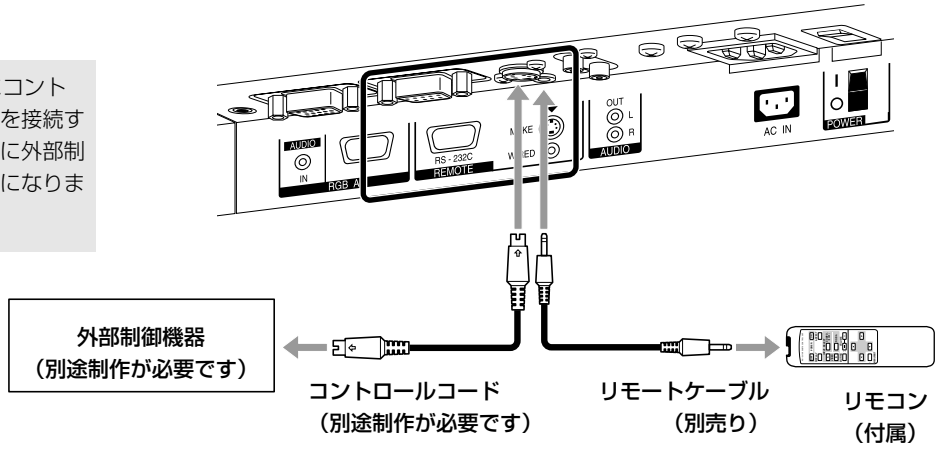
お願い

- ⊕,⊖をショートさせないでください。
  （取り付けの際はスピーカーユニット本体の取扱説明書も併せてお読みください。）

外部制御機器の接続

REMOTE端子を使って、プラズマディスプレイモニターを外部から操作できます。
付属のリモコンをワイヤードリモコンとして使うときはWIRED端子を、外部制御機器を使って電源の「入／切」と入力切り換えをするときはMAKE端子を使います。MAKE端子を使った操作は、本体やリモコンからの操作より優先されます。

MAKE端子にコントロールコードを接続すると、自動的に外部制御機能が有効になります。



付属のリモコンを別売のリモートケーブルを使ってワイヤードリモコンとして使えます。

MAKE端子に外部制御機器を接続すると、次の操作ができるようになります。

- プラズマディスプレイモニターの電源を「入／切」する。
  - あらかじめ本体背面のPOWERを「**I**（ON）」にしておいてください。
- 入力を切り換える。
  - メニューの「REMOTE SWITCH」で、適切な入力を選びます。（右の表と29ページもご覧ください。）

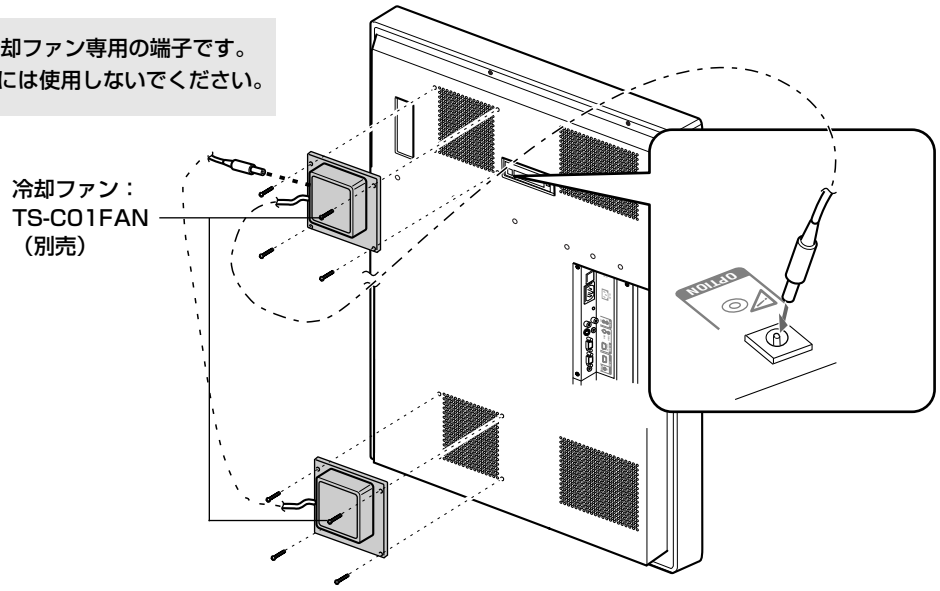
外部制御機器を使って入力を切り換えるときは、メニューの「REMOTE SWITCH」の設定によって、次のように切り換わります。

	入力端子の切り換わりかた	
MODE1	VIDEO A	⇔ VIDEO B
MODE2	VIDEO A	⇔ COMPONENT/RGB
MODE3	VIDEO A	⇔ RGB A
MODE4	VIDEO B	⇔ COMPONENT/RGB
MODE5	VIDEO B	⇔ RGB A
MODE6	COMPONENT/RGB	⇔ RGB A

冷却ファンの取り付け

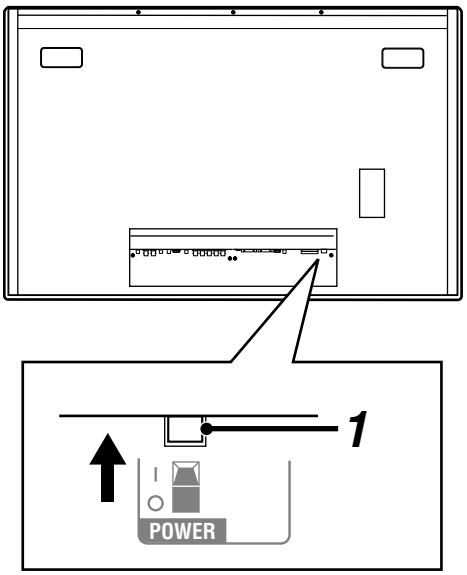
本機を縦型で使用するときは、放熱をよくするため、冷却ファンを取り付けてください。冷却ファンのコードはOPTION端子に接続します。また、斜めなど特殊な取り付け状態で使用するときは、取り付け環境などにより、冷却ファンの放熱だけでは使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

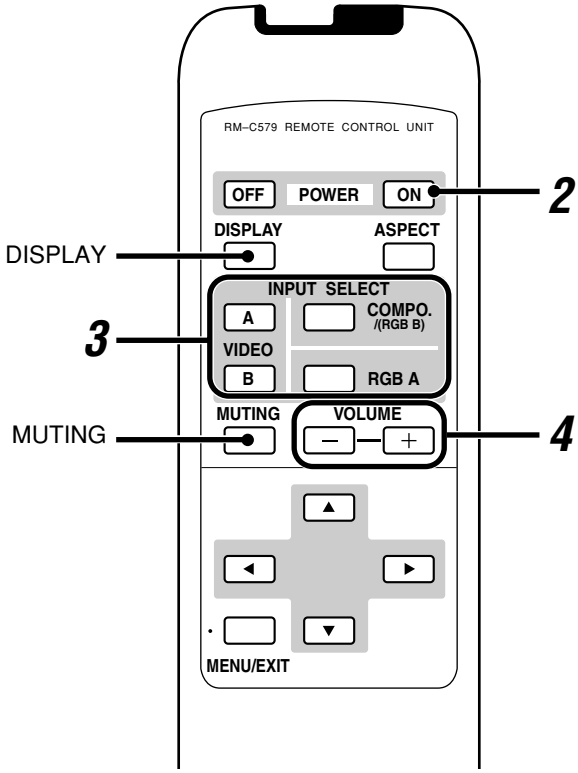
OPTION端子は冷却ファン専用の端子です。
他の機器との接続には使用しないでください。



基本の操作

本体背面





1 主電源を入れる。

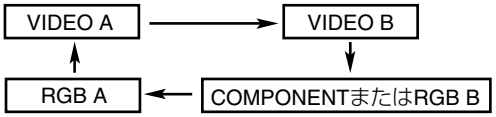
本体背面のPOWERスイッチを「I（ON）」にします。
本体前面左上の電源ランプがオレンジ色に点灯します。
* 前回本機の電源が「入」のときに背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にした場合は、電源ランプが緑色に点灯し本機の電源が「入」になります。

2 電源を入れる。

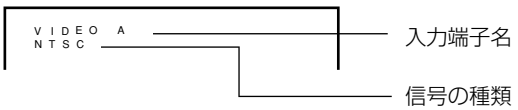
リモコンのPOWER ONボタンを押して電源を入れます。
電源ランプがオレンジ色から緑色に変わります。
* 本体底面のPOWERボタンでも電源を入れられます。

3 入力を選ぶ。

INPUT SELECT（VIDEO A、VIDEO B、COMPO./(RGB B)、RGB A）ボタンを押して入力を選びます。
* 本体底面のINPUTボタンでも入力を切り換えられます。押すごとに次のように切り換ります。



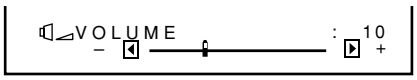
画面表示



メモ

● COMPONENT入力とRGB B入力は、メニューの「RGB/COMPO.」で設定されている入力が選ばれます。（26ページ）

4 音量を調節する。

VOLUME＋／－ボタンで調節します。
画面表示

メモ

● メニューが表示されていないときは、本体底面のカーソル◄／►ボタンでも音量が調節できます。

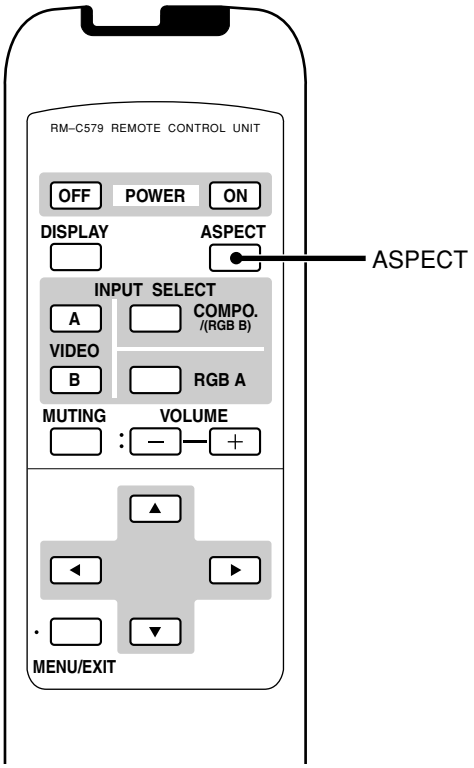
音声を消すには

MUTINGボタンを押します。
「MUTING ON」と表示されて、音声が出なくなります。
もう一度押すと、音声が出ます。

画面表示を出すには

DISPLAYボタンを押します。
入力端子名と信号の種類が表示されます。
表示は約3秒後に消えます。
● メニューの「STATUS DISPLAY」でも画面表示を出せます。（28ページ）

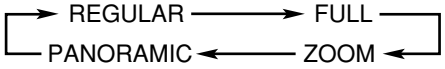
画面サイズの切り換え



本機は通常の横縦比4：3の画面（REGULAR）の他3種類のワイド画面（FULL、ZOOM、PANORAMIC）を選べます。映像信号に合ったアスペクト（画面の横縦比）を選んでお楽しみください。

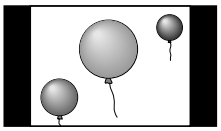
ASPECTボタンを押す。

ASPECTボタンを押すたびに、画面サイズが次のように切り換ります。



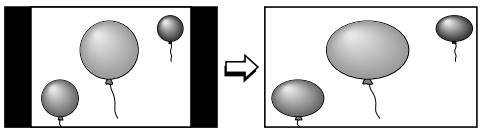
REGULAR（レギュラー）

通常のアスペクト4：3の映像です。



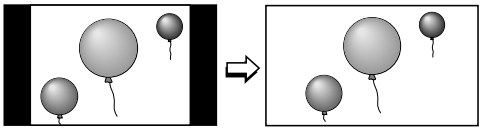
FULL（フル）

レギュラーサイズの映像を全体的に横に拡大します。



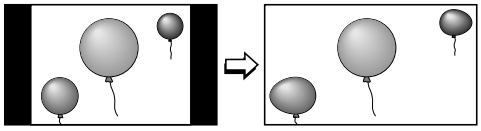
ZOOM（ズーム）

レギュラーサイズの映像を縦、横同じ比率で拡大します。



PANORAMIC（パノラミック）

レギュラーサイズの映像を不自然に見えないように拡大します。



メモ

- 次の信号が入力されているときは、アスペクトは固定され、切り換えられません。

  FULLに固定される信号

  COMPONENT入力の1080/50i、1080/60i（1035/60i）、720/60p

  REGULARとFULLしか選べない信号

  RGB15K-60とRGB15K-50以外のRGB入力の信号

- メニューの「FUNCTION SELECT」でもアスペクトを切り換えられます。（25ページ）

お願い

画面サイズのご利用について

ワイド画像でない従来（通常）の4：3の映像を「FULL」、「ZOOM」、「PANORAMIC」サイズでご覧になると、周辺画像の一部が見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、「REGULAR」サイズでご覧になれます。

映像の見え方について

このプラズマディスプレイモニターは各種の画面サイズ選択機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。

著作権の侵害について

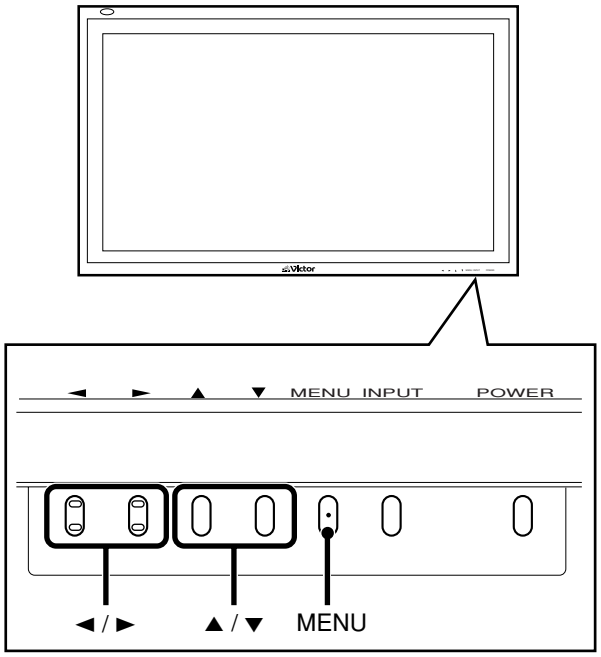
プラズマディスプレイモニターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズの選択機能（PANORAMIC）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

「REGULAR」サイズでのご使用について

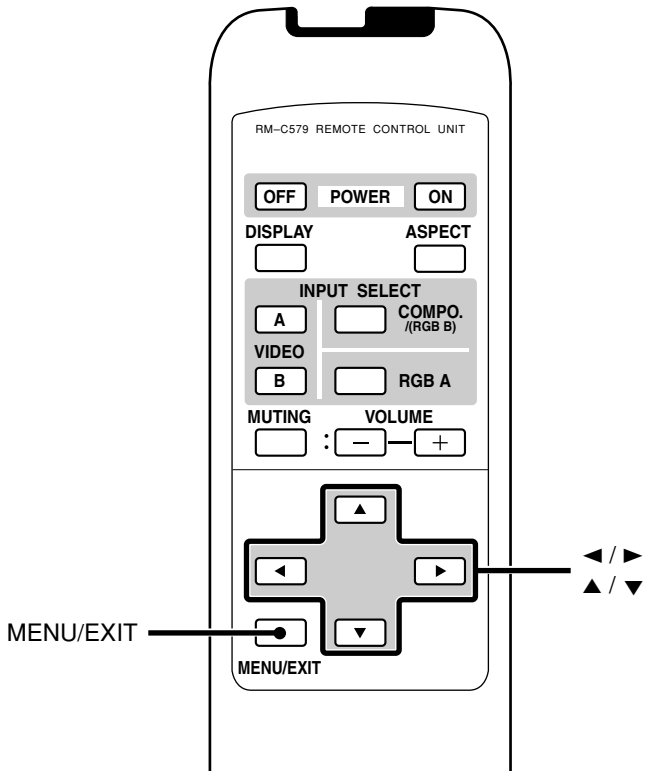
長時間「REGULAR」サイズの状態にし、非常に明るい映像でご覧になっていると、焼き付きが発生することがあります。通常は、焼き付きはおこりませんが、もし、焼き付きが起こったときはワイドサイズの映像でしばらくご覧になると焼き付きの症状をしだいに軽減することができます。

映像調節

本体前面



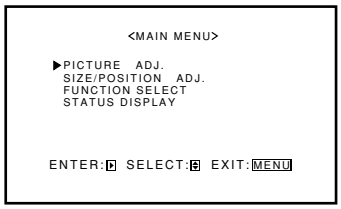
* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。



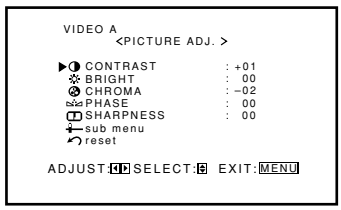
画質を調節する

入力ごとに設定できます。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「PICTURE ADJ.」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



3 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して調節する。

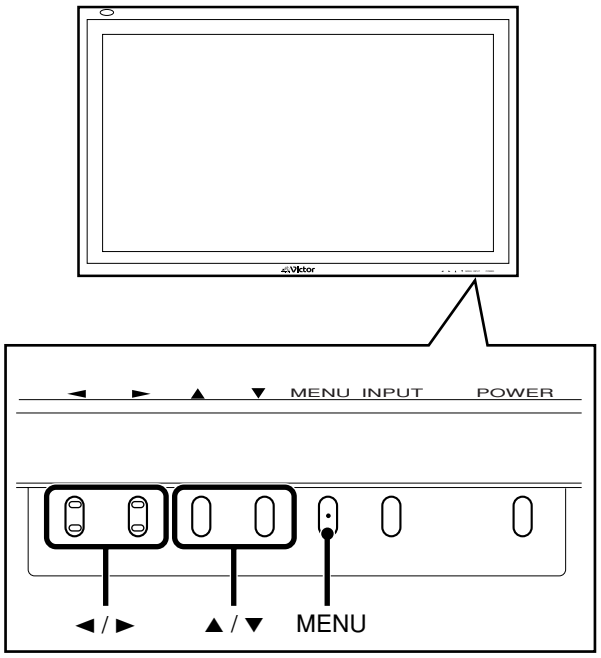
	項目	調節の範囲	標準 (リセット)
◑	CONTRAST（コントラスト）	−20〜+20	+10
☼	BRIGHT（明るさ）	−20〜+20	00
◉	CHROMA*（色のこさ）	−20〜+20	00
◿	PHASE*（色あい）	−20〜+20	00
◫	SHARPNESS（りんかく）	−10〜+10	00
┿	sub menu（サブメニュー）	22ページの「調節バーを見ながら調節するには」をご覧ください。	
↶	reset（リセット）	22ページの「画質をお買い上げ時の設定に戻すには」をご覧ください。	

* RGB AまたはRGB B入力時は調節できません。

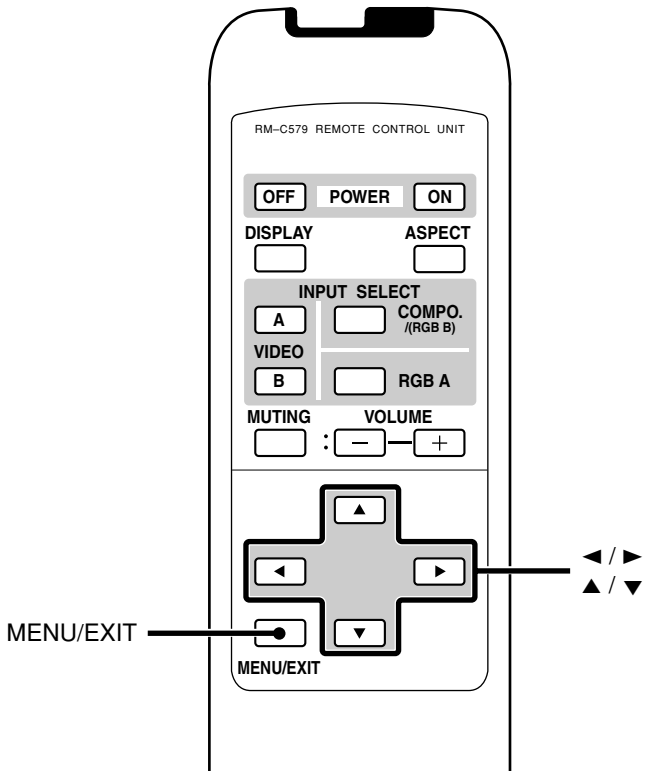
5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

次のページにつづく

本体前面



* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。

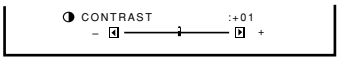


調節バーを見ながら調節するには

21ページの手順2のあとで次の操作を行ってください。

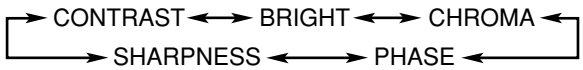
1 カーソル▲／▼ボタンを押して「sub menu」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

「CONTRAST」の調節バーが表示されます。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目の調節バーを表示させます。

カーソル▲／▼ボタンを押すたびに次のように変わります。



3 カーソル◄／►ボタンを押して調節する。

続けて他の項目を調節するときは、手順2と手順3の操作をくり返します。

4 MENU/EXITボタンを3回押してメニューを消す。

画質をお買い上げ時の設定に戻すには

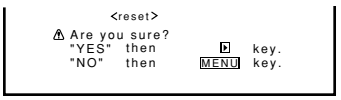
「PICTURE ADJ.」の全ての調節項目がリセットされますので、1つ1つの項目を選んでリセットすることはできません。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 ▲／▼ボタンを押して「PICTURE ADJ.」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



4 カーソル►ボタンを押す。

「PICTURE ADJ.」に含まれる全ての調節項目がリセットされます。

リセットしないときはMENU/EXIT ボタンを押します。

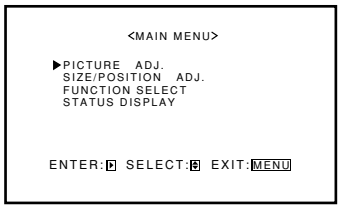
画面の大きさ／位置を調節する

画面の位置や大きさを調節できます。
信号ごとに記憶でき、同じ信号を入力したときは自動的に前回の調節値になります。

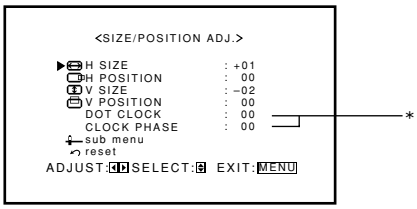
ワンポイントアドバイス
「SIZE」（大きさ）と「POSITION」（位置）を交互に調節します。

ご注意
「SIZE」は左右（または上下）均等に変化せず、右（または下）方向にのみ変化します。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「SIZE/POSITION ADJ.」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



* 「DOT CLOCK」、「CLOCK PHASE」はRGB AまたはRGB B入力のときのみ表示され、調節できます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して調節する。

	項目	調節の範囲
	H SIZE（画面の横幅）	−40〜+40
	H POSITION（画面の左右位置）	マイコンが調節範囲を自動的に変更します。
	V SIZE（画面の縦幅）	−40〜+40
	V POSITION（画面の上下位置）	マイコンが調節範囲を自動的に変更します。
	DOT CLOCK*（画面のちらつきや縞模様）	−10〜+10
	CLOCK PHASE*（画面のちらつきや縞模様）	−20〜+20
	sub menu（サブメニュー）	24ページの「調節バーを見ながら調節するには」をご覧ください。
	reset（リセット）	24ページの「画面の大きさ／位置をお買い上げ時の設定に戻すには」をご覧ください。

* 「DOT CLOCK」、「CLOCK PHASE」はRGB AまたはRGB B入力のときのみ表示され、調節できます。

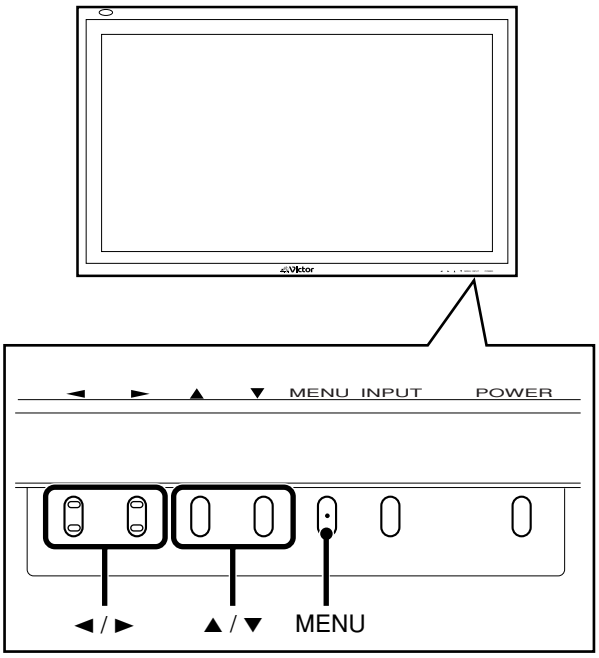
メモ

- 画面の「SIZE」と「POSITION」の調節値は関連しており、一方の調節値が大きいと、他方の最大調節値が制限されることがあります。
- 「DOT CLOCK」は、A/Dコンバーターでサンプリングする画素数を入力信号の水平画素数に合わせる機能です。
  「CLOCK PHASE」は、サンプリングするタイミング（位相）を入力信号の画素の位置に合わせる機能です。
  画面にちらつきやにじみが出たときに、この2つの機能を使って、ちらつきやにじみが最も少なくなるように調節します。
- 「SIZE」または「POSITION」を変えると、映像が乱れることがありますが、故障ではありません。

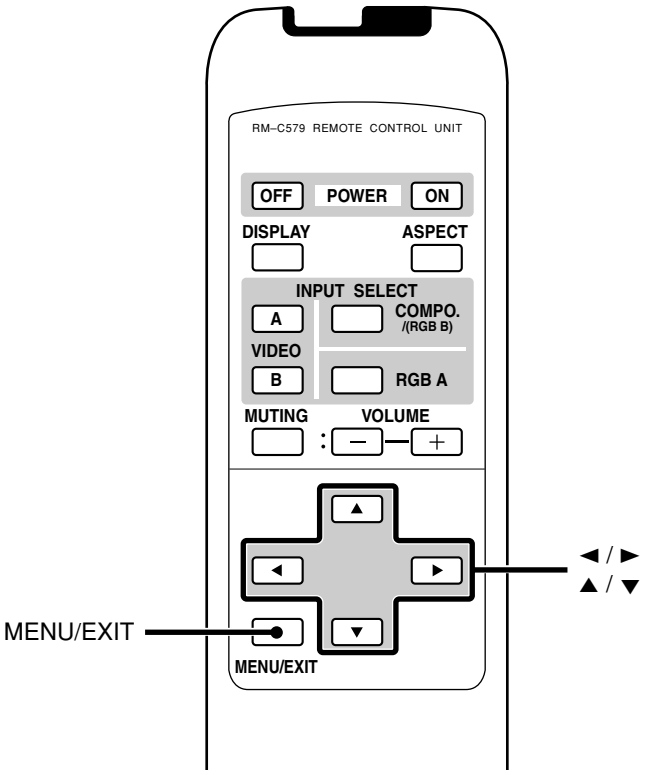
5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

次のページにつづく

本体前面



* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。

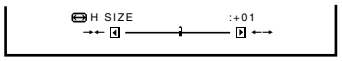


調節バーを見ながら調節するには

23ページの手順2のあとで次の操作を行ってください。

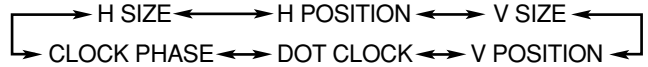
1 カーソル▲／▼ボタンを押して「sub menu」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

「H SIZE」の調節バーが表示されます。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目の調節バーを表示させます。

カーソル▲／▼ボタンを押すたびに次のように変わります。



3 カーソル◄／►ボタンを押して調節する。

続けて他の項目を調節するときは、カーソル▲／▼ボタンを押し、カーソル◄／►ボタンで調節します。。

4 MENU/EXITボタンを3回押してメニューを消す。

画面の大きさ／位置をお買い上げ時の設定に戻すには

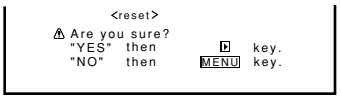
「SIZE/POSITION ADJ.」の全ての調節項目がリセットされますので、1つ1つの項目を選んでリセットすることはできません。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 ▲／▼ボタンを押して「SIZE/POSITION ADJ.」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



4 カーソル►ボタンを押す。

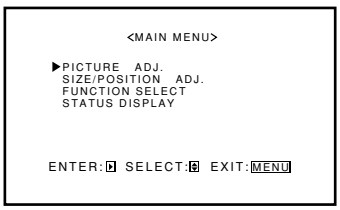
「SIZE/POSITION ADJ.」に含まれる全ての調節項目がリセットされます。

リセットしないときは MENU/EXIT ボタンを押します。

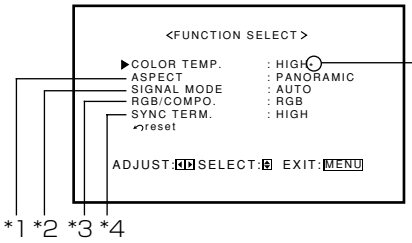
色温度を選ぶ

全入力で共通の設定になります。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



ホワイトバランスを調節したときは、「COLOR TEMP.：HIGH（またはLOW）」の後に「*」が表示されます。

*1「ASPECT」の項目は、COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50iのときは表示されません。
*2「SIGNAL MODE」の項目は、COMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*3「RGB/COMPO.」の項目は、RGB B 入力またはCOMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*4「SYNC TERM.」の項目は、RGB B 入力選択時のみ表示されます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「COLOR TEMP.」を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して「HIGH」または「LOW」を選ぶ。

カーソル◄／►ボタンを押すたびに、「HIGH」と「LOW」が切り換ります。
「HIGH」を選ぶと画面全体が青みがかり、「LOW」を選ぶと赤みがかります。

5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

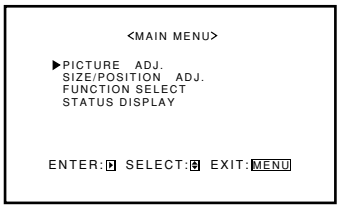
メモ

● さらに細かく調節するときは、セットアップメニューでホワイトバランスを調節してください。（31ページ）

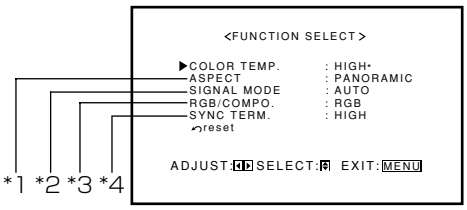
アスペクトを切り換える（画面サイズ）

入力ごとに設定できます。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



*1「ASPECT」の項目は、COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50iのときは表示されません。
*2「SIGNAL MODE」の項目は、COMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*3「RGB/COMPO.」の項目は、RGB B 入力またはCOMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*4「SYNC TERM.」の項目は、RGB B 入力選択時のみ表示されます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「ASPECT」を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して画面サイズを選ぶ。

カーソル◄／►ボタンを押すたびに、画面サイズは次のように切り換ります。

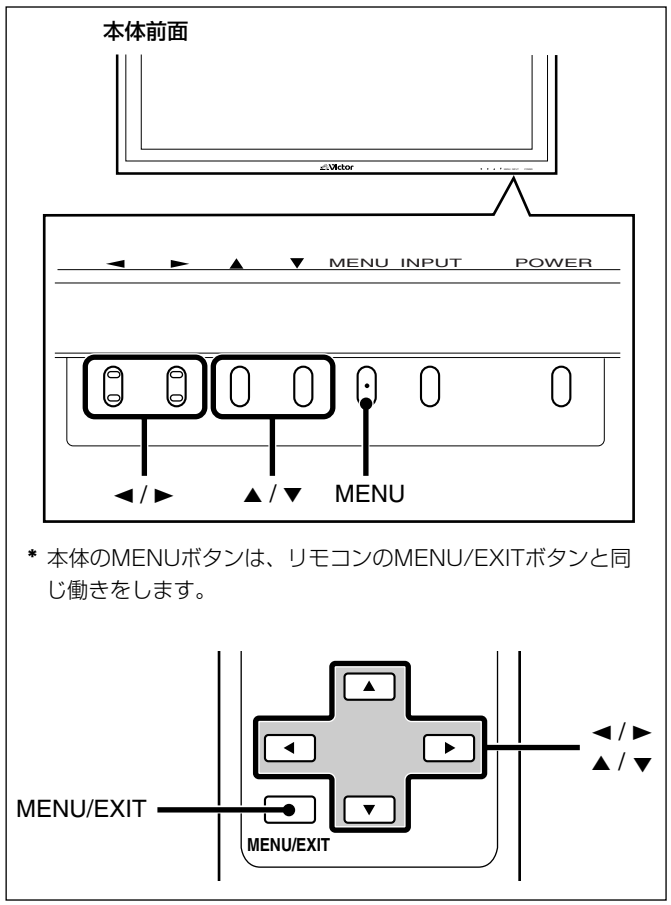
REGULAR ⟷ FULL
PANORAMIC ⟷ ZOOM

カーソル► ボタンのかわりに ASPECT ボタンも使えます。

5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

メモ

● 次の信号が入力されているときは、アスペクトは固定され、切り換えられません。
FULLに固定される信号
COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50i
REGULARとFULLしか選べない信号
RGB15K-60とRGB15K-50以外のRGB入力の信号
● 画面サイズ「REGULAR」、「FULL」、「ZOOM」、「PANORAMIC」についての詳しい説明は20ページをご覧ください。

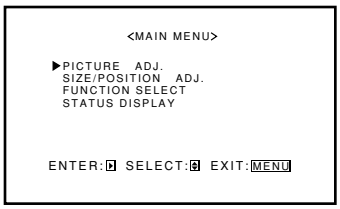


* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。

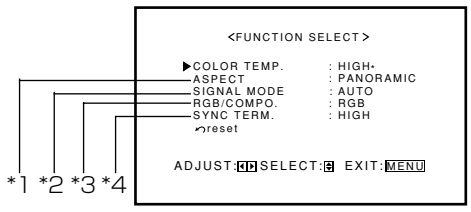
入力信号の種類を設定する

COMPONENT入力のときの信号の種類や判別方法を設定します。通常は「AUTO」にしておきます。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



*1「ASPECT」の項目は、COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50iのときは表示されません。
*2「SIGNAL MODE」の項目は、COMPONENT入力選択時のみ表示されます。
*3「RGB/COMPO.」の項目は、RGB B入力またはCOMPONENT入力選択時のみ表示されます。
*4「SYNC TERM.」の項目は、RGB B入力選択時のみ表示されます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「SIGNAL MODE」を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して設定する。

カーソル◄／►ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

AUTO ⇄ 480i ⇄ 576i ⇄ 480p
1080/50i ⇄ 1080/60i (1035i)* ⇄ 720p ⇄ 576p

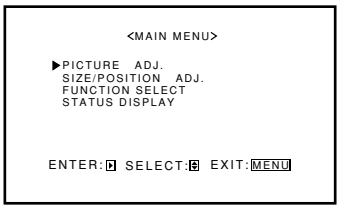
* メニューの「HD SIGNAL MODE」の設定によりどちらかが表示されます。(30ページ)

5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

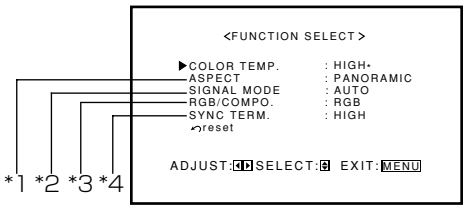
COMPONENT/RGB B入力端子を設定する

本体背面のCOMPONENT/RGB B入力端子をCOMPONENT端子として使うか、RGB B端子として使うかを設定します。設定された入力が、リモコンのCOMPO./(RGB B)ボタンや本体のINPUTボタンで選べます。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



*1「ASPECT」の項目は、COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50iのときは表示されません。
*2「SIGNAL MODE」の項目は、COMPONENT入力選択時のみ表示されます。
*3「RGB/COMPO.」の項目は、RGB B入力またはCOMPONENT入力選択時のみ表示されます。
*4「SYNC TERM.」の項目は、RGB B入力選択時のみ表示されます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「RGB/COMPO.」を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して「COMPO.」または「RGB」を選ぶ。

入力の設定が切り換って、メニューが消えます。

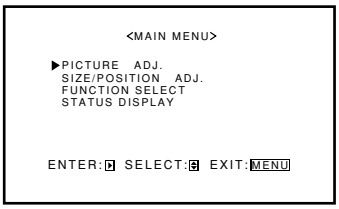
RGB B入力端子の終端抵抗値を変更する

入力信号に応じて、RGB B (BNC) 入力端子のうち次の2つの端子について、終端抵抗値を「HIGH」(1kΩ) または「LOW」(75Ω) に切り換えて使用します。

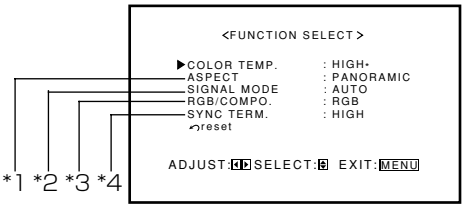
・HD/Cs（水平同期信号／複合同期信号）端子
・VD（垂直同期信号）端子

通常は「HIGH」に設定します。
接続コードが長いなどの理由で画面にちらつきなどが見られる場合「LOW」に設定します。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



*1「ASPECT」の項目は、COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50iのときは表示されません。
*2「SIGNAL MODE」の項目は、COMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*3「RGB/COMPO.」の項目は、RGB B 入力または COMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*4「SYNC TERM.」の項目は、RGB B 入力選択時のみ表示されます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「SYNC TERM.」を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して「HIGH」または「LOW」を選ぶ。

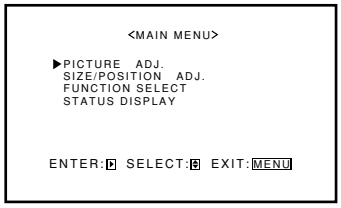
カーソル ◄／► を押すたびに、「HIGH」と「LOW」が切り換わります。

5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

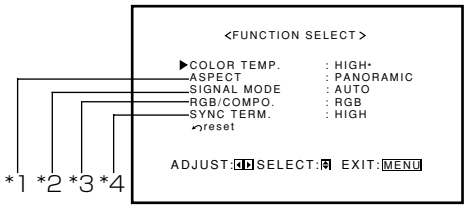
変更した設定をリセットする

「FUNCTION SELECT」の各項目で変更した設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



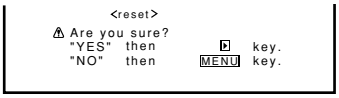
2 カーソル▲／▼ボタンを押して「FUNCTION SELECT」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



*1「ASPECT」の項目は、COMPONENT入力の720/60p、1080/60i(1035/60i)、1080/50iのときは表示されません。
*2「SIGNAL MODE」の項目は、COMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*3「RGB/COMPO.」の項目は、RGB B 入力または COMPONENT 入力選択時のみ表示されます。
*4「SYNC TERM.」の項目は、RGB B 入力選択時のみ表示されます。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選ぶ。

確認の画面が表示されます。

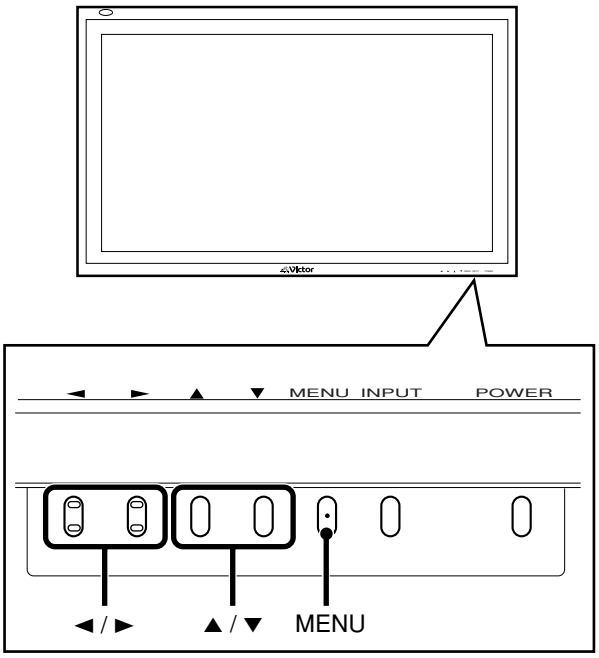


4 カーソル►ボタンを押してリセットする。

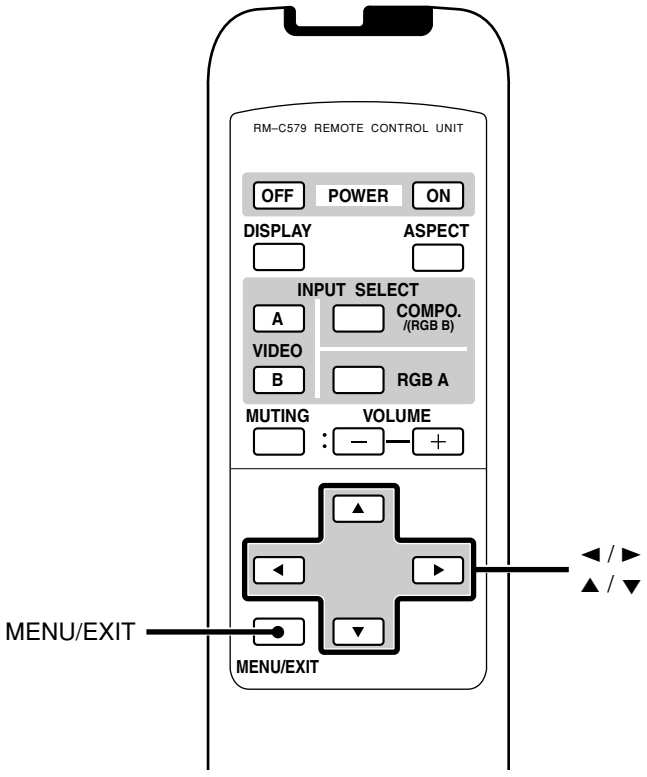
変更した内容が、お買い上げ時の設定に戻ります。
リセットを中止するには、MENU/EXIT ボタンを押します。

5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

本体前面



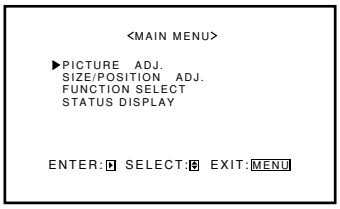
* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。



画面表示を出す

入力端子名と信号の種類を表示します。

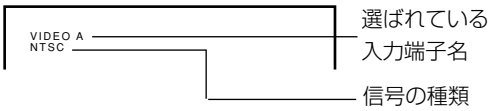
1 MENU/EXITボタンを押してメインメニューを表示させる。



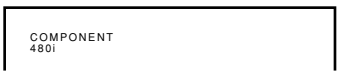
2 カーソル▲／▼ボタンを押して「STATUS DISPLAY」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

画面に映っている映像の入力端子名と信号の種類が表示されます。

VIDEO AまたはVIDEO B入力のとき



COMPONENT入力のとき



RGB AまたはRGB B入力のとき

入力されている信号が初期設定に登録されている信号であるときは、周波数のあとに「*」が表示されます。（15ページ）

メモ

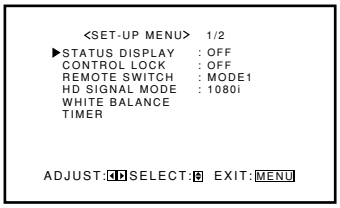
● DISPLAYボタンを押しても画面表示を出せます。

入力切り換え時に画面表示を出す

入力切り換え時に入力端子名と信号の種類を表示するかどうかを設定します。

1 VOLUME−ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◀ボタンを押したままMENUボタンを押します。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「STATUS DISPLAY」を選ぶ。

3 カーソル◀／►ボタンで「ON」を選ぶ。

カーソル◀／►ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り換ります。
入力切り換え時に表示を出す必要のないときは「OFF」を選びます。

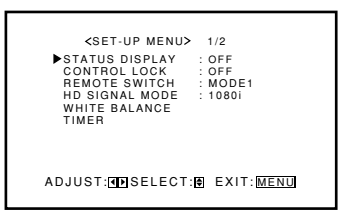
4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

本体のボタン操作を禁止する

誤操作やいたずらを防ぐため、本体のボタンでは操作できないように設定します。

1 VOLUME−ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◀ボタンを押したままMENUボタンを押します。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「CONTROL LOCK」を選ぶ。

3 カーソル◀／►ボタンを押して「ON」を選ぶ。

カーソル◀／►ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り換ります。
コントロールロックを解除するときは「OFF」を選びます。

4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

メモ

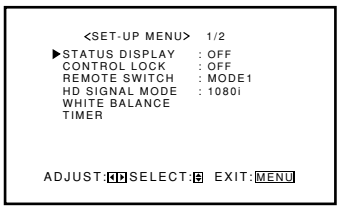
● コントロールロックが設定されていても、次の操作はできます。
- コントロールロックを解除する操作
- すべてのリモコン操作

外部制御時の入力切り換えを設定する

REMOTE MAKE端子に接続した外部制御機器で本機を操作するときの入力の切り換えを設定します。

1 VOLUME−ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◀ボタンを押したままMENUボタンを押します。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「REMOTE SWITCH」を選ぶ。

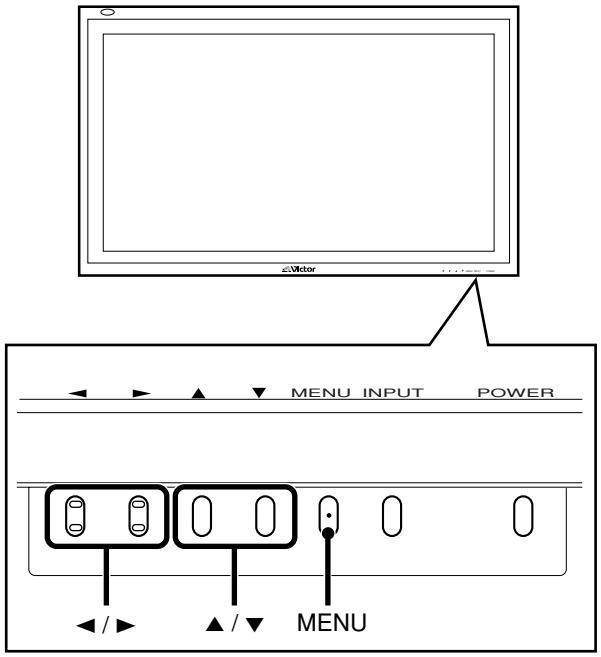
3 カーソル◀／►ボタンを押して設定する。

カーソル◀／►ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

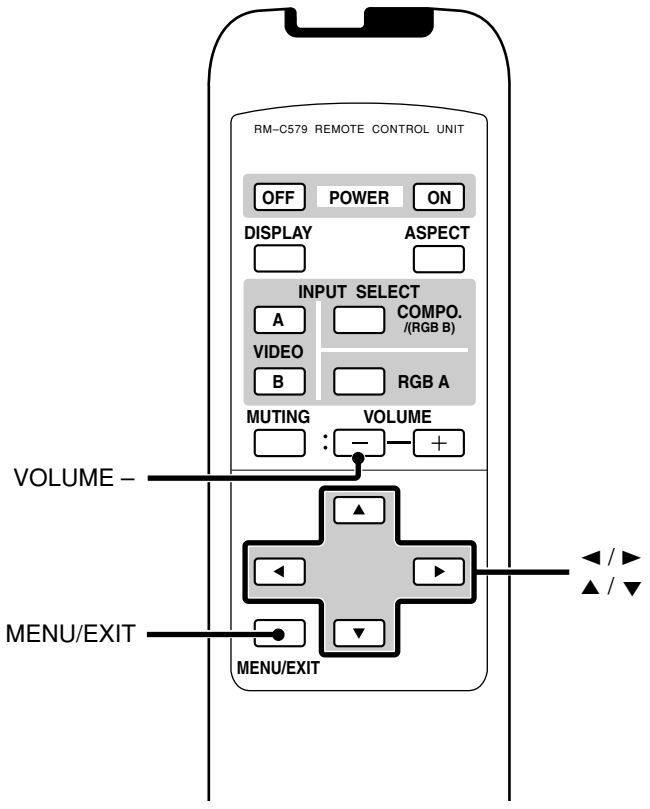
MODE1：VIDEO A とVIDEO B入力を選べます。
MODE2：VIDEO A とCOMPONENT/RGB B入力を選べます。
MODE3：VIDEO A とRGB A入力を選べます。
MODE4：VIDEO B とCOMPONENT/RGB B入力を選べます。
MODE5：VIDEO B とRGB A入力を選べます。
MODE6：COMPONENT/RGB BとRGB A入力を選べます。

4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

本体前面



* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。

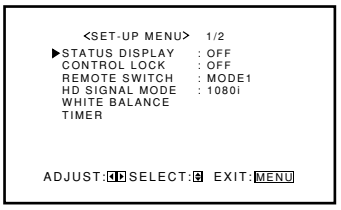


ハイビジョン信号の設定をする

COMPONENT/RGB B端子に接続する機器にあわせて、アナログハイビジョン用（1035i）とデジタルハイビジョン用（1080i）の設定を切り換えます。お買い上げ時にはデジタルハイビジョン用（1080i）に設定されています。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「HD SIGNAL MODE」を選ぶ。

3 カーソル◄／►ボタンを押して「1035i」または「1080i」を選ぶ。

カーソル◄／►ボタンを押すたびに、「1035i」（アナログハイビジョン用）と「1080i」（デジタルハイビジョン用）が切り換ります。

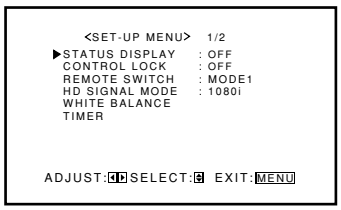
4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

ホワイトバランスを調節する

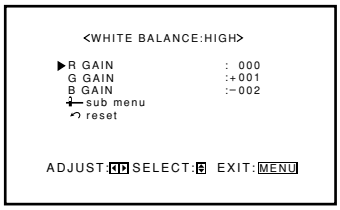
色温度の設定の「HIGH」、「LOW」ごとに、R GAIN、G GAIN、B GAINを細かく調節することができます。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して「WHITE BALANCE」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



3 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目を選ぶ。

4 カーソル◄／►ボタンを押して調節する。

他の項目も調節するときは手順3と手順4をくり返します。

5 MENU/EXITボタンを2回押してメニューを消す。

メモ

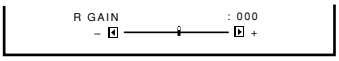
● 調節できる範囲は、個々のプラズマディスプレイモニターによって異なります。
すぐにMAX表示になることがありますが、故障ではありません。

調節バーを見ながら調節するには

左記の手順2のあとで次の操作を行ってください。

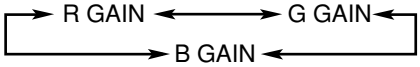
1 カーソル▲／▼ボタンを押して「sub menu」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

「R GAIN」の調節バーが表示されます。



2 カーソル▲／▼ボタンを押して調節したい項目の調節バーを表示させる。

カーソル▲／▼ボタンを押すたびに次のように切り換ります。



3 カーソル◄／►ボタンを押して調節する。

続けて他の項目を調節するときは、手順2と手順3の操作をくり返します。

4 MENU/EXITボタンを3回押してメニューを消す。

ホワイトバランスをお買い上げ時の設定に戻すには

R GAIN、G GAIN、B GAINの全てがリセットされますので、1つ1つの項目を選んでリセットすることはできません。

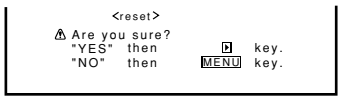
1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

2 ▲／▼ボタンを押して「WHITE BALANCE」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

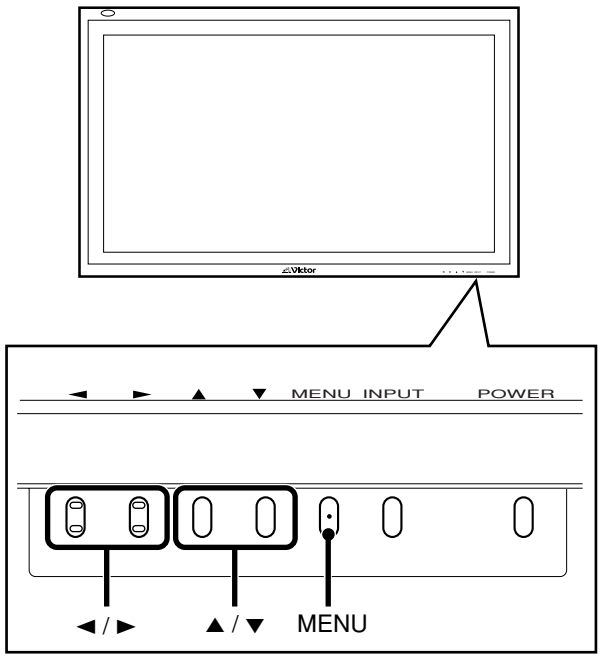
確認の画面が表示されます。



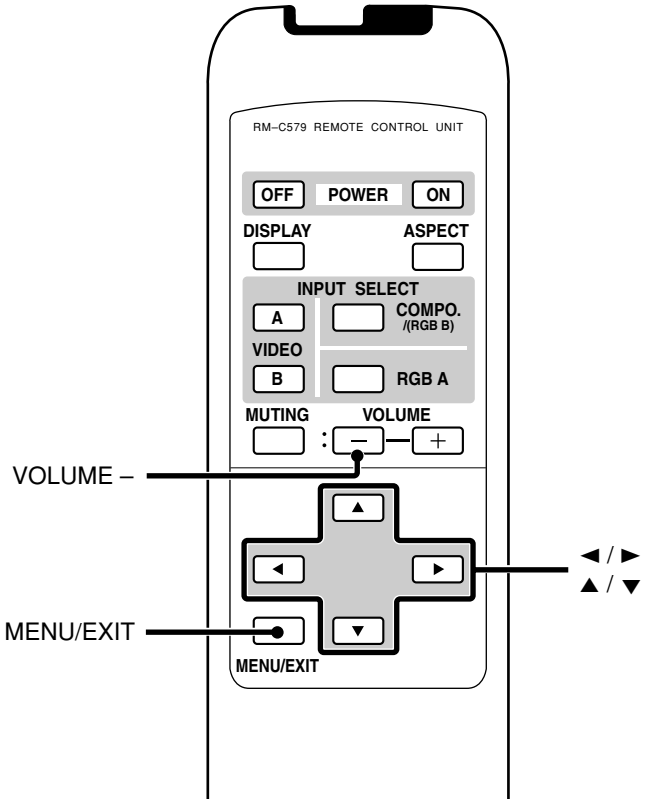
4 カーソル►ボタンを押す。

ホワイトバランスがリセットされます。
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

本体前面



* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。



現在時刻とタイマーを設定する

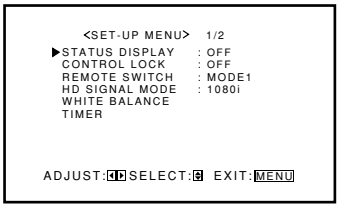
現在時刻の設定と、本機の電源を「入」、「切」するタイマーの設定を行います。現在時刻を設定しないとタイマー機能は働きません。

■現在時刻の設定

時刻を修正する手順も同じようにして行います。

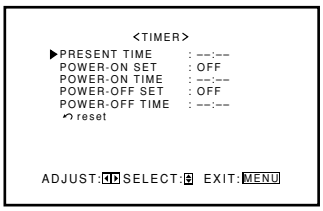
1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

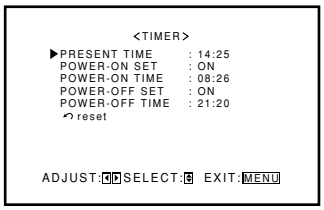


2 カーソル▲／▼ボタンを押して「TIMER」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

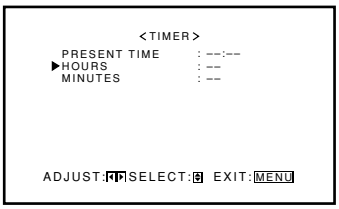
現在時刻の設定前の画面



現在時刻が設定済みの画面



3 カーソル▲／▼ボタンを押して「PRESENT TIME」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



4 カーソル▲／▼ボタンを押して「HOURS」を選び、カーソル◄／►ボタンを押して「時」を合わせる。

時刻の表示は24時間表示です。

5 カーソル▲／▼ボタンを押して「MINUTES」を選び、カーソル◄／►ボタンを押して「分」を合わせる。

6 MENU/EXITボタンを繰り返し押してメニューを消す。

■タイマーの設定

32ページの手順3でそれぞれの項目を選び設定します。

・現在時刻を設定しないとタイマー機能は働きません。タイマーを設定する前に現在時刻の設定をしてください。

POWER－ON SET

「POWER－ON TIME」で設定した時刻に本機の電源を「入」にするかどうかを設定します。

・カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。

「ON」　：設定した時刻に自動的に電源が入ります。

「OFF」：設定した時刻は無効になります。

POWER－ON TIME

本機の電源を「入」にする時刻を設定します。

・「現在時刻の設定」の手順4から6に従って設定します。

POWER－OFF SET

「POWER－OFF TIME」で設定した時刻に本機の電源を「切」にするかどうかを設定します。

・カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。

「ON」　：設定した時刻に自動的に電源が切れます。

「OFF」：設定した時刻は無効になります。

POWER－OFF TIME

本機の電源を「切」にする時刻を設定します。

・「現在時刻の設定」の手順4から6に従って設定します。

タイマーをお買い上げ時の設定に戻すには

タイマーメニューの各項目で変更した設定を全て、お買い上げ時の設定に戻します。

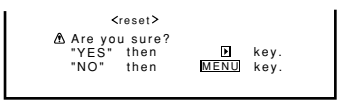
1　VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

2　カーソル▲／▼ボタンを押して「TIMER」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

3　カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



4　カーソル►ボタンを押す。

タイマーがリセットされます。

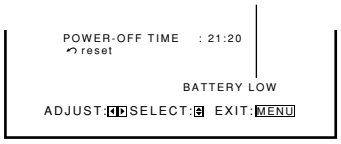
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

電池の残量表示について

本機には、タイマーの時計用に電池が内蔵されています。タイマーに関連する機能（タイマー、リフレッシュ、カラーリバース）のメニューを表示すると、電池の残量によって次のメッセージが表示されます。

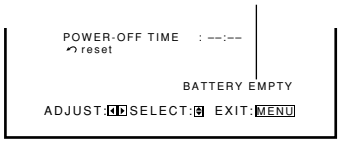
●電池が残り少ない場合（BATTERY LOW）

メニュー表示中に赤色で "BATTERY LOW" と表示されます。



●電池がない場合（BATTERY EMPTY）

メニュー表示中に赤色で "BATTERY EMPTY" と表示されます。



・現在時刻が「－－：－－」と表示され、初期状態（未設定）に戻ります。

・電池を交換する必要がありますので、お買い上げの販売店へご相談下さい。（お客様ご自身での交換はできません。サービス対応となります。）

・電池を交換したあとは現在時刻やタイマーの設定をし直してください。

なお、タイマーに関連する機能以外については、そのまま使用し続けることができます。

画面の焼き付きを軽減する

画面の焼き付きを防ぐ（軽減する）ために、静止画を長時間映すときには、表示画面を一定時間間隔で上下左右に移動させます。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)

*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「PIXEL SHIFT」を選ぶ。

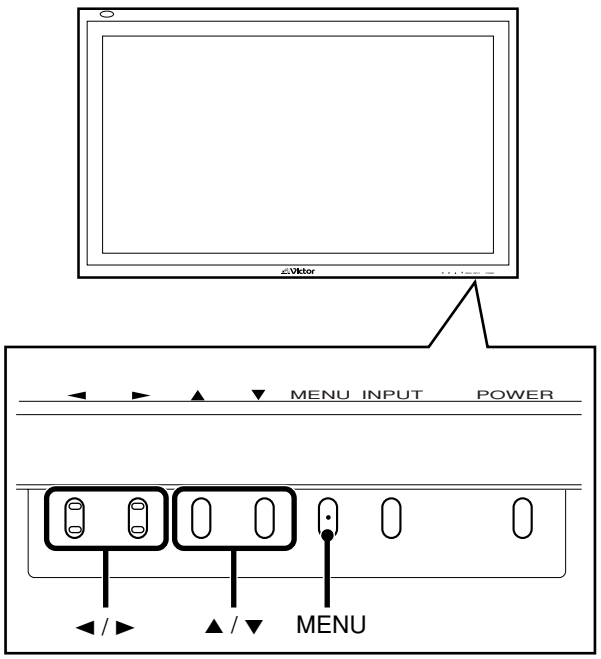
3 カーソル◄／►ボタンで「ON」を選ぶ。

カーソル◄／►ボタンを押すたびに「ON」と「OFF」が切り換ります。

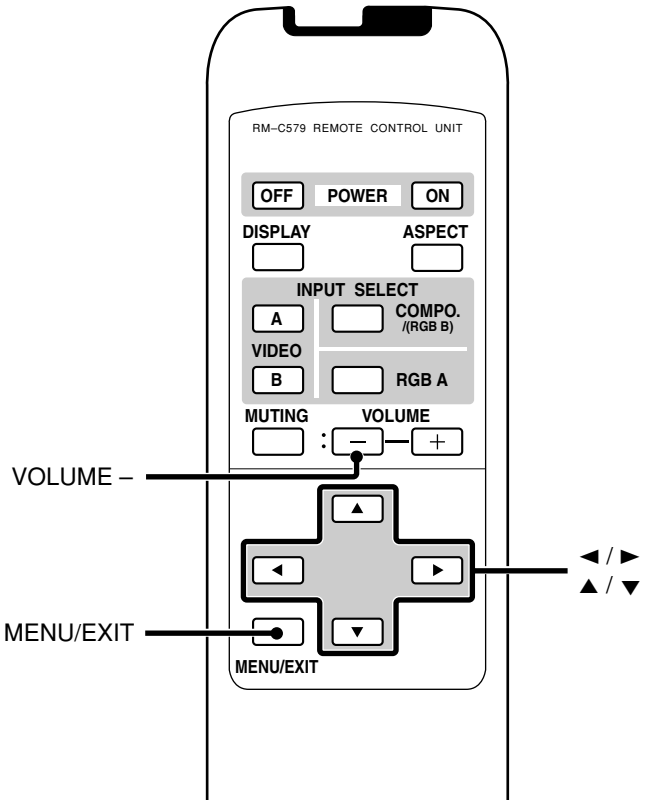
ピクセルシフトを解除するときは「OFF」を選びます。

4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

本体前面



* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。

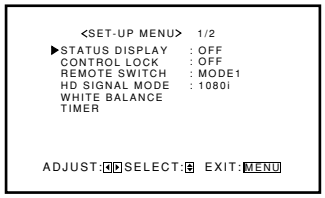


省電力設定にする

本機には省電力設定としてパワーセーブ機能があります。
「POWER SAVE」を「ON」に設定すると、明るさを抑えて省電力になります。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)
*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「POWER SAVE」を選ぶ。

3 カーソル◄／►ボタンを押して「SAVE1」、「SAVE2」または「OFF」を選ぶ。

カーソル◄／►ボタンを押すたびに、「SAVE1」、「SAVE2」、「OFF」が切り換ります。
「SAVE1」：明るさを抑えて、省電力にします。
「SAVE2」：より明るさを抑え、省電力にします。
「OFF」　：パワーセーブ機能を解除します。通常の明るさで表示します。

4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

焼き付きなどの残像現象を軽減する

本機には、焼き付きなどの残像現象を軽減する2つの機能カラーリバース（「COLOR-REVERSE」）とリフレッシュ（「REFRESH」）があります。カラーリバース機能は長時間の静止画表示などで焼き付きがおこったときに、リフレッシュ機能は、電源を切ったときにパネルに画像が残っているときに使います。
タイマーを使って、自動的に「入」「切」することもできます。

■カラーリバース機能の設定（「COLOR-REVERSE」）

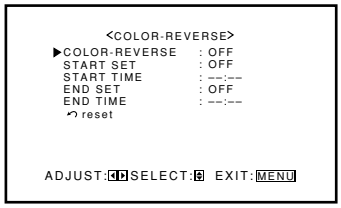
●焼き付きをおこした静止画を表示させてから行います。

1 VOLUME−ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)
*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「COLOR-REVERSE」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



3 カーソル▲／▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ。

それぞれの項目は以下のように設定します。

COLOR−REVERSE
すぐにカラーリバース機能を「入」「切」するとき選びます。
・ カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」または「TIMER」を選びます。
　「ON」　：カラーリバース機能を働かせます。
　「OFF」　：カラーリバース機能を切ります。
　「TIMER」：タイマーでカラーリバース機能を「入」「切」するときに選びます。

●現在時刻を設定しないと、「TIMER」は働きません。

●「TIMER」を選ばないと、以下の項目の設定は有効になりません。自動でカラーリバース機能を「入」「切」するときは必ず「TIMER」を選んでください。

START SET
「START TIME」で設定した時刻にカラーリバース機能を「入」にするかどうかを設定します。
・ カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。
　「ON」　：設定した時刻に自動的にカラーリバース機能が働きはじめます。
　「OFF」　：設定した時刻は無効になります。

START TIME
カラーリバース機能を「入」にする時刻を設定します。
・「現在時刻の設定」（32ページ）の手順4から5に従って設定します。

END SET
「END TIME」で設定した時刻にカラーリバース機能を「切」にするかどうかを設定します。
・ カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。
　「ON」　：設定した時刻に自動的にカラーリバース機能が切れます。
　「OFF」　：設定した時刻は無効になります。

END TIME
カラーリバース機能を「切」にする時刻を設定します。
・「現在時刻の設定」（32ページ）の手順4から5に従って設定します。

4 MENU/EXITボタンを繰り返し押してメニューを消す。

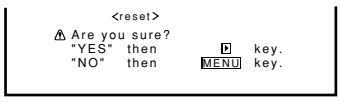
カラーリバースをお買い上げ時の設定に戻すには

カラーリバースメニューの各項目で変更した設定を全て、お買い上げ時の設定に戻します。

1　VOLUME−ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。
本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

2　カーソル▲／▼ボタンを押して「COLOR-REVERSE」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

3　カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。
確認の画面が表示されます。

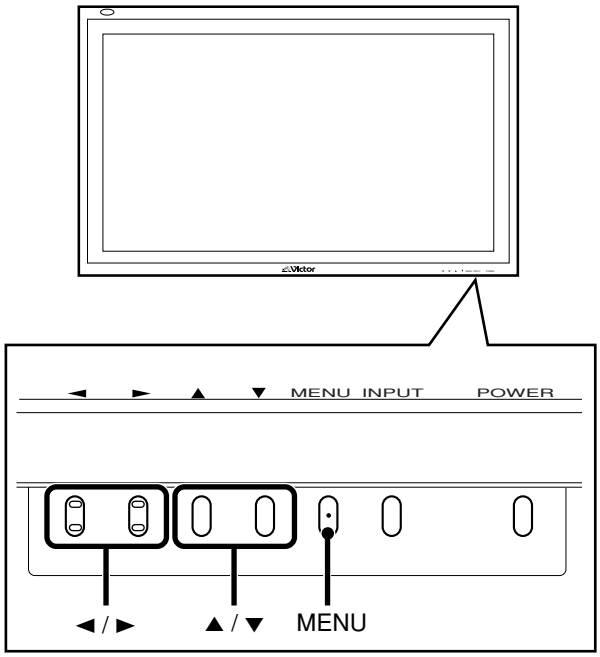


4　カーソル►ボタンを押す。
タイマーがリセットされます。
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

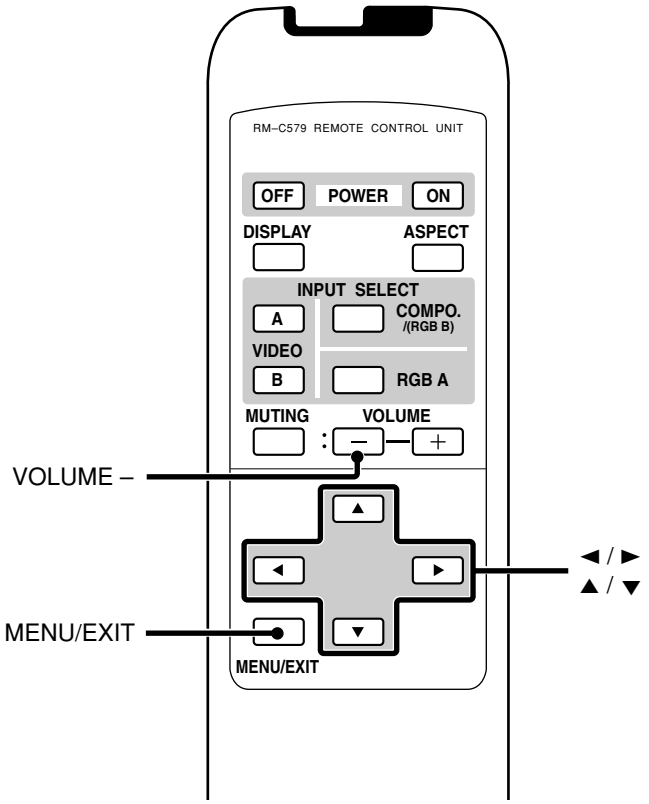
メモ

●リフレッシュ機能やカラーリバース機能を使っても、残像が解消されるまでには時間がかかります。30分から1時間おきに、リフレッシュ機能やカラーリバース機能を一時解除し、残像が消えているか確認してください。解消されていれば、そのままリフレッシュ機能やカラーリバース機能を終了してください。

本体前面



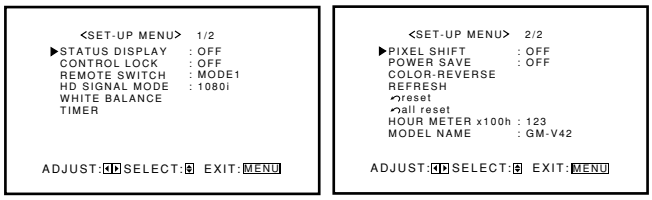
* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。



■リフレッシュ機能の設定（「REFRESH」）

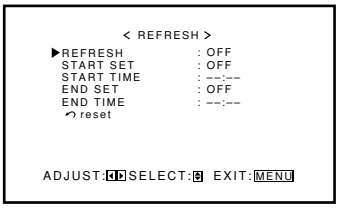
1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)
*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「REFRESH」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。



3 カーソル▲／▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ。

それぞれの項目は以下のように設定します。

REFRESH

すぐにリフレッシュ機能を「入」「切」するとき選びます。

・カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」または「TIMER」を選びます。

「ON」　：リフレッシュ機能を働かせます。
「OFF」　：リフレッシュ機能を切ります。
「TIMER」：タイマーでリフレッシュ機能を「入」「切」するときに選びます。

●現在時刻を設定しないと、「TIMER」は働きません。

●「TIMER」を選ばないと、以下の項目の設定は有効になりません。自動でリフレッシュ機能を「入」「切」するときは必ず「TIMER」を選んでください。

START SET

「START TIME」で設定した時刻にリフレッシュ機能を「入」にするかどうかを設定します。

・カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。

「ON」　：設定した時刻に自動的にリフレッシュ機能が働きはじめます。
「OFF」：設定した時刻は無効になります。

START TIME

リフレッシュ機能を「入」にする時刻を設定します。

・「現在時刻の設定」（32ページ）の手順4から5に従って設定します。

END SET

「END TIME」で設定した時刻にリフレッシュ機能を「切」にするかどうかを設定します。

・カーソル◄／►ボタンを押して「ON」または「OFF」を選びます。

「ON」：設定した時刻に自動的にリフレッシュ機能が切れます。

「OFF」：設定した時刻は無効になります。

END TIME

リフレッシュ機能を「切」にする時刻を設定します。

・「現在時刻の設定」（32ページ）の手順4から5に従って設定します。

4 MENU/EXITボタンを繰り返し押してメニューを消す。

リフレッシュをお買い上げ時の設定に戻すには

リフレッシュメニューの各項目で変更した設定を全て、お買い上げ時の設定に戻します。

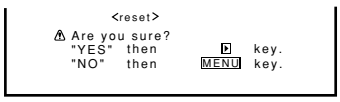
1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して「REFRESH」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

3 カーソル▲／▼ボタンを押して「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



4 カーソル►ボタンを押す。

タイマーがリセットされます。

リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

メモ

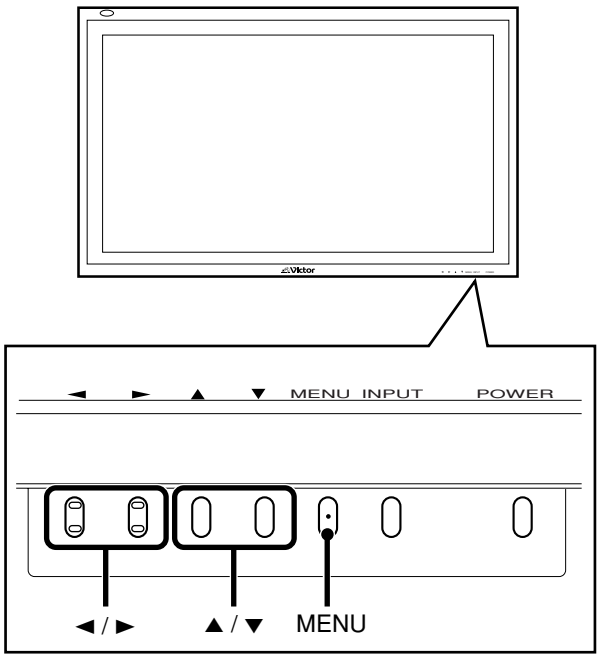
● リフレッシュ機能やカラーリバース機能を使っても、残像が解消されるまでには時間がかかります。30分から1時間おきに、リフレッシュ機能やカラーリバース機能を一時解除し、残像が消えているか確認してください。解消されていれば、そのままリフレッシュ機能やカラーリバース機能を終了してください。

タイマーについて

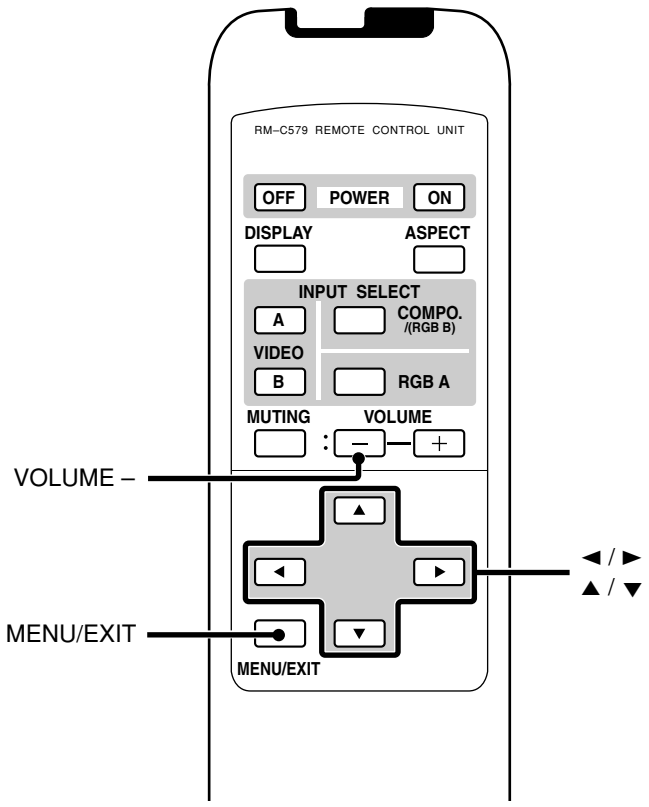
・カラーリバース機能を「TIMER」に設定していた場合、設定した時間内に電源を入れると、カラーリバース機能が働きます。
リフレッシュ機能も同じように働きます。
機能を止めるには、それぞれの機能の設定画面で「OFF」を選びます（35、36ページ）。

・カラーリバース機能やリフレッシュ機能を手動で「入」「切」した場合、タイマーが働いて自動で機能を「切」「入」することはありません。自動で機能を「入」「切」するときは「TIMER」を選んでください（35、36ページ）。

本体前面



* 本体のMENUボタンは、リモコンのMENU/EXITボタンと同じ働きをします。

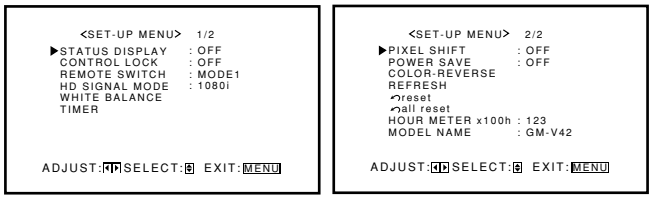


変更した設定をリセットする

セットアップメニューの各項目で変更した設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

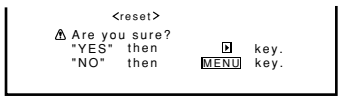


<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)

*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



3 カーソル►ボタンを押してリセットする。

変更したセットアップメニューの内容が、お買い上げ時の設定に戻ります。
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

4 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

変更した設定を全てリセットする

メインメニューやセットアップメニューの各項目で変更した設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

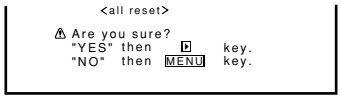
本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。

<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)

*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目の「all reset」を選び、カーソル►ボタンを押して決定する。

確認の画面が表示されます。



3 カーソル►ボタンを押してリセットする。

変更した全ての内容が、お買い上げ時の設定に戻ります。
リセットを中止するには、MENU/EXITボタンを押します。

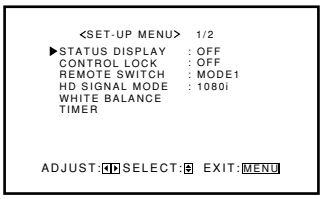
4 一旦電源が切れ、自動的に電源が入ります。

合計使用時間と機種名を確認する

セットアップメニューで、お使いのプラズマディスプレイモニターの合計使用時間と機種名を確認できます。プラズマディスプレイモニターの保守に使用します。

1 VOLUME－ボタンを押したままMENU/EXITボタンを押して、セットアップメニューを表示させる。

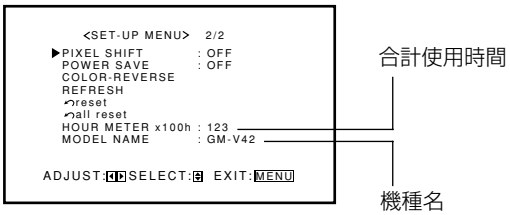
本体のボタンを使用するときは、カーソル◄ボタンを押したままMENUボタンを押します。



<SET-UP MENU> 1/2(1ページ目)　<SET-UP MENU> 2/2(2ページ目)

*セットアップメニューは2ページあります。

2 カーソル▲／▼ボタンを押して2ページ目を表示させ、合計使用時間と機種名を確認する。



（例：GM-V42のとき）

● 表示される数値は、合計使用時間を100で割ったものです。実際の使用時間は表示された数値の100倍です。

3 MENU/EXITボタンを押してメニューを消す。

メモ

● 合計使用時間は1時間単位で加算されていきますので、使用時間が1時間以内であったときは、合計使用時間には加算されません。
● スタンバイ（電源ランプがオレンジ色に点灯）時は、合計使用時間には加算されません。

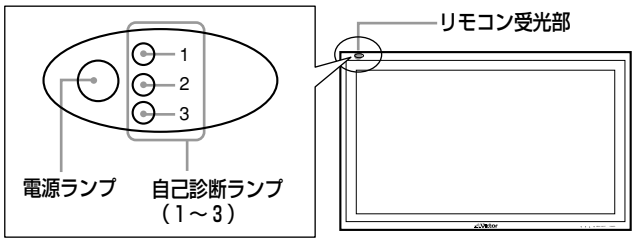
故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、次の点をお調べください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	・電源コードが外れていませんか。	・電源コード（プラグ）をしっかり差し込んでください。	17ページ
	・主電源スイッチを入れましたか。	・本体背面のPOWERスイッチを入れてください。	19ページ
電源が突然入る/切れる	・電源を「入」「切」するタイマーが「ON」になっていませんか。	・電源を「入」「切」するタイマーを「OFF」にしてください。	32,33ページ
映像が出ない・音声が出ない	・入力を正しく選んでいますか。	・INPUT SELECT（VIDEO A、VIDEO B、COMPO./(RGB B)、RGB A）ボタンで正しい入力を選んでください。	19ページ
	・接続機器を正しく接続していますか。	・接続機器を正しく接続してください。	16、17ページ
	・接続機器から信号が出ていますか。	・接続機器を正しく設定してください。	―
	・接続機器の信号（走査周波数など）は入力可能な信号ですか。	・入力可能な信号であるか（走査周波数など）を確認し、対応した信号を入力してください。	15ページ
	・明るさが正しく調節されていますか。	・メニューで「BRIGHT」を調節してください。	21ページ
	・音量が最小になっていませんか。	・リモコンのVOLUME+／－ボタンで音量を調節してください。	19ページ
	・自己診断ランプが点灯（点滅）していませんか。	・「自己診断表示」にしたがって確認してください。	41ページ
映像がぼやける	・RGB入力の信号ですか。	・メニューの「DOT CLOCK」と「CLOCK PHASE」を調節してください。	23ページ
	・RGB B入力端子への接続コードが長くありませんか。	・メニューで「SYNC TERM.」を「LOW」にしてください。	27ページ
映像が異常に暗い・明るい	・明るさが正しく調節されていますか。	・メニューで「BRIGHT」を調節してください。	21ページ
	・画質（色のこさなど）は正しく調節されていますか。	・メニューで画質を調節してください。	21ページ
	・画面右下に「TEMP. OVER」の表示が点灯（点滅）していませんか。	・「自己診断表示」にしたがって確認してください。	41ページ
映像の色が突然反転する・真っ白になる	・カラーリバース機能やリフレッシュ機能の設定が「TIMER」になっていませんか。	・カラーリバース機能やリフレッシュ機能の設定を「OFF」にしてください。	35、36ページ
映像が切れる・片寄っている	・接続機器の信号（走査周波数など）は入力可能な信号ですか。	・入力可能な信号であるか（走査周波数など）を確認し、対応した信号を入力してください。	15ページ
	・画面の大きさや位置の調節は正しいですか。	・メニューで「H SIZE」、「V SIZE」、「H POSITION」、「V POSITION」を調節してください。	23ページ
リモコンが働かない	・乾電池が正しく入っていますか。	・乾電池の極性（＋、－）を正しく合わせて入れてください。	13ページ
	・乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池に交換してください。	13ページ
	・リモコンとリモコン受光部との間に遮へい物はありませんか。	・遮へい物を取り除いてください。	―
	・距離が離れすぎていませんか。	・近づいて送信してください。	―
本体で操作ができない	・コントロールロックが「ON」になっていませんか。	・セットアップメニューで「CONTROL LOCK」を「OFF」にしてください。	29ページ

自己診断表示

本機には自己診断機能がついています。
本機に異常が起きたときに、ランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。



画面が消え、電源ランプの横の自己診断ランプが点灯／点滅したら

自己診断ランプが赤く点灯／点滅したら、下記の<手順>にしたがって、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

● 自己診断表示のランプが次のような表示のとき
ランプ1： 点滅　**ランプ2：** 点灯　**ランプ3：** 点滅
背面の通気孔にホコリが付着していることが考えられます。
本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にして、電源コードを抜いてください。
お手入れのしかた（8ページ）にしたがって掃除をしてください。
掃除をして主電源を入れ直しても自己診断表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

画面が少し暗くなり、「TEMP. OVER」の表示が点灯（点滅）したら

設置環境の悪さやホコリの影響で本機の内部温度が上昇すると、本機は画面を暗くして電力消費を下げ、内部温度の上昇を抑制します。このとき「TEMP.OVER」が表示されます。内部温度上昇の原因がなくなると、表示は消えて、画面はもとの明るさに戻ります。
「TEMP.OVER」の表示が点灯／点滅したら、下記の<手順>にしたがって、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

● 画面右下に「TEMP. OVER」の表示が黄色く点滅しているとき
背面の通気孔にホコリが付着していることが考えられます。
本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にして、電源コードを抜いてください。
お手入れのしかた（8ページ）にしたがって掃除をしてください。
掃除をして主電源を入れ直しても「TEMP. OVER」表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
背面の通気孔にホコリが付着していないで、表示がでているときは、設置環境の悪さが影響していると考えられます。
お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談の上、設置環境を改善してください。

● 画面右下に「TEMP. OVER」の表示が赤く点灯しているとき
2分間「TEMP. OVER」の表示をします。
その後、自動的に本機の電源が切れ（スタンバイ状態）、自己診断ランプが赤く点灯します。
本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にして、電源コードを抜いてください。
お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

＜手順＞

1 どのランプが点灯／点滅しているか確認する。
下の「プラズマディスプレイモニター自己診断報告書」の「点灯」または「点滅」に○を付けてください。
点灯か点滅のいずれかになります。1つだけ点滅する場合も、3つとも点滅する場合もあります。
2 本体背面のPOWERスイッチを「○（OFF）」にする。
3 電源コードを抜く。
4 お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に点灯／点滅しているランプの位置および「TEMP.OVER」表示を知らせる。
下記の報告書をコピーし、ファックス用紙としてご利用ください。

メモ

● 主電源を切ってすぐにもう一度主電源を入れると、自己診断ランプが点灯（または点滅）し、映像が出ないことがあります。（瞬間的な停電も含みます。）このようなときは、一度主電源を切り、10秒以上たってから再び主電源を入れてください。自己診断ランプが点灯（または点滅）しなければ、そのままご使用ください。

お買い上げ販売店

御中

プラズマディスプレイモニター自己診断報告書

ビクタープラズマディスプレイモニターGM-V42/GM-V42Rの自己診断ランプが下記のように点灯（点滅）しました。サービスの対応をお願いいたします。

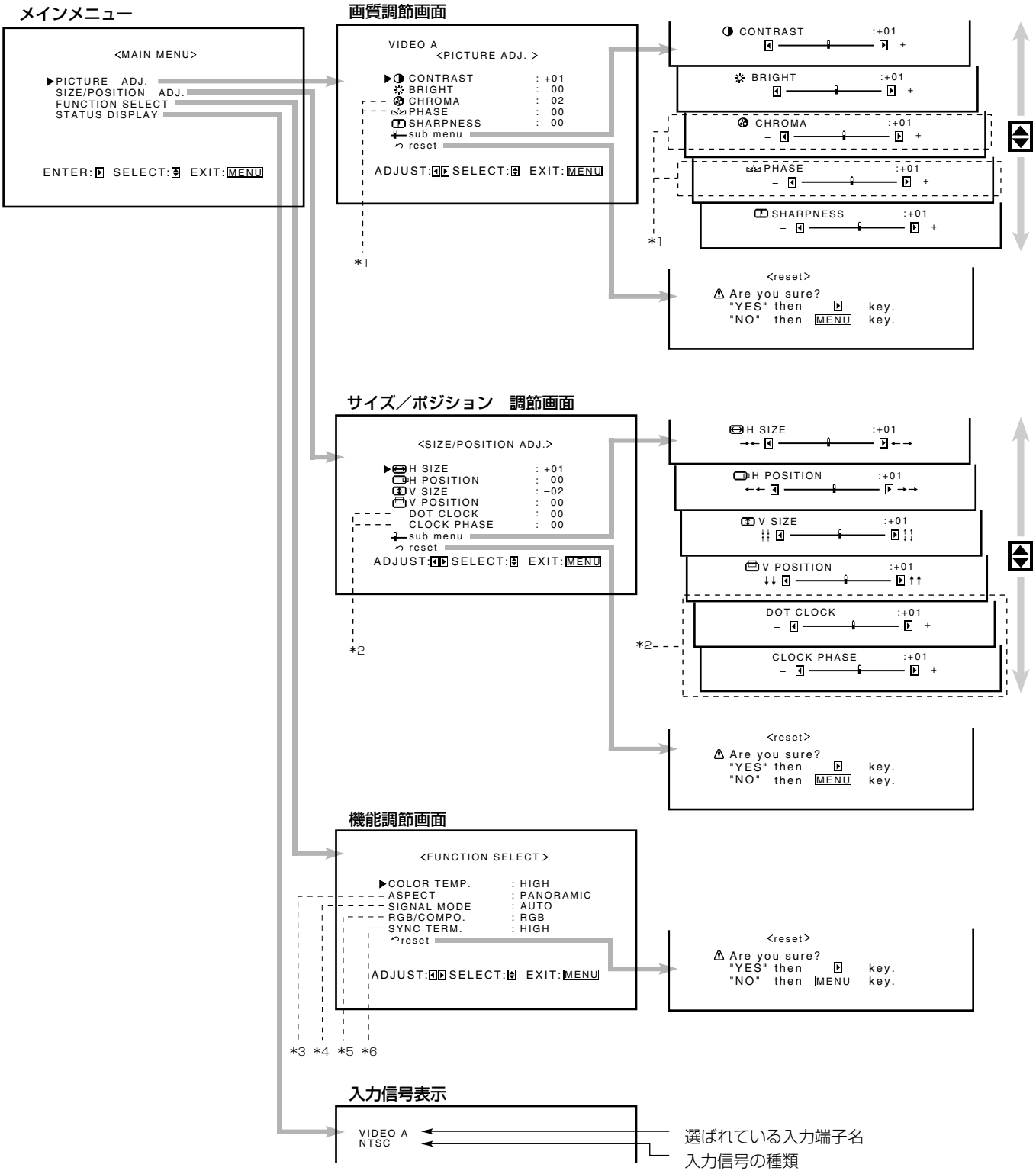
自己診断ランプの状態			
	ランプ位置	状態	
1	上	点灯	点滅
2	中	点灯	点滅
3	下	点灯	点滅

TEMP. OVER	点灯	点滅

お名前	
電話番号	
ご住所	
型名	**GM-V42/GM-V42R（プラズマディスプレイモニター）**

メニューの構成

メインメニュー一覧

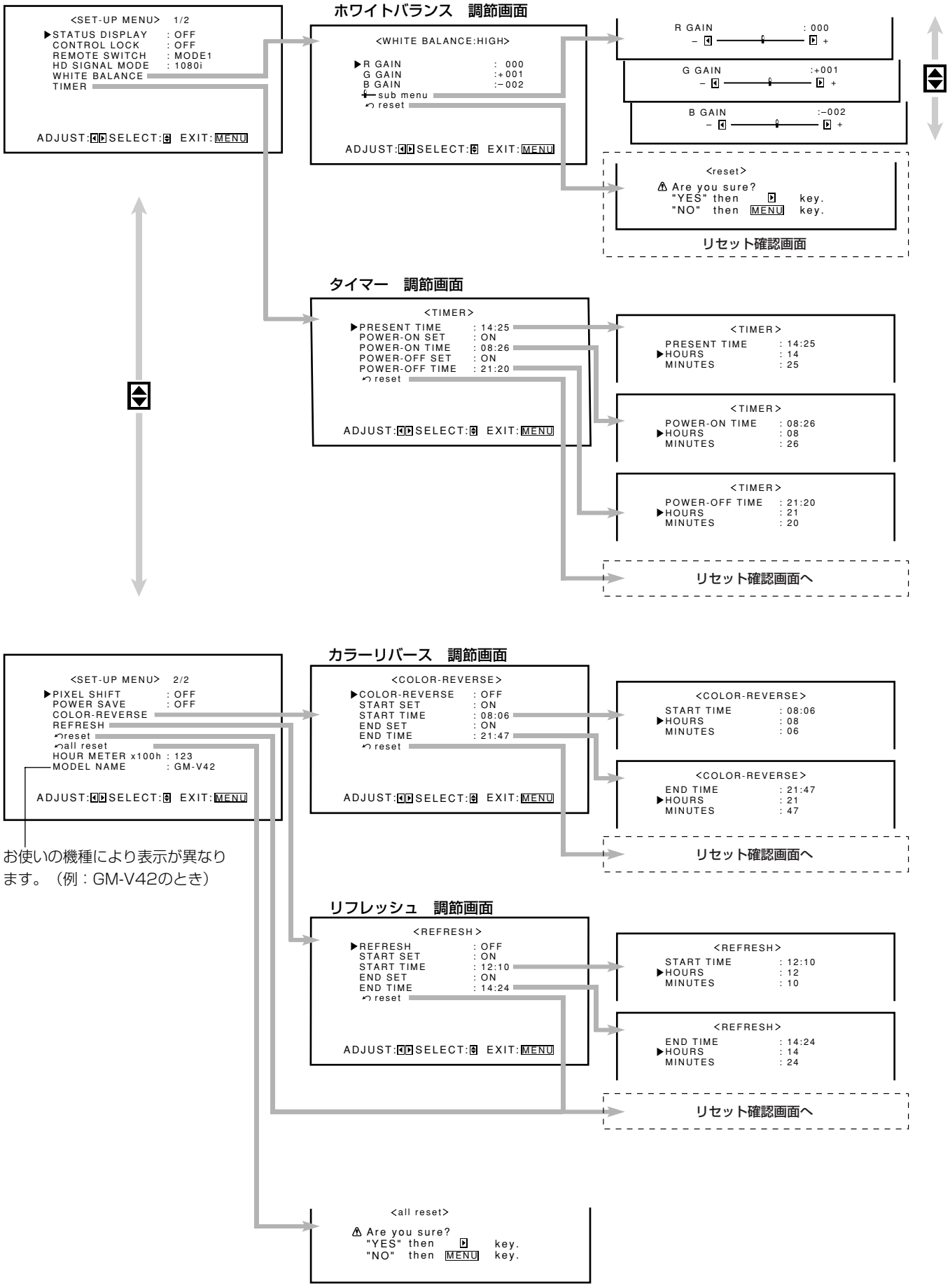


例）VIDEO A入力が選ばれているとき

PICTURE ADJ.（画質調節）	**CONTRAST（コントラスト）**	画像のコントラストを調節します。(21 ページ)
	BRIGHT（明るさ）	画像の明るさを調節します。(21 ページ)
	CHROMA*1（色のこさ）	画像の色のこさを調節します。(21 ページ)
	PHASE*1（色あい）	映像の色あいを調節します。(21 ページ)
	SHARPNESS（りんかく）	画像のりんかくを調節します。(21 ページ)
	sub menu（サブメニュー）	調節バーを表示します。(21 ページ)
	reset（リセット）	画質調節をお買い上げ時の設定に戻します。(21 ページ)
SIZE/POSITION ADJ.（画面サイズ／画面位置調節）	**H SIZE（画面の横サイズ）**	画面の横方向のサイズを調節します。(23 ページ)
	H POSITION（画面の水平位置）	画面の水平位置を調節します。(23 ページ)
	V SIZE（画面の縦サイズ）	画面の縦方向のサイズを調節します。(23 ページ)
	V POSITION（画面の垂直位置）	画面の垂直位置を調節します。(23 ページ)
	DOT CLOCK*2（画面のデジタル処理の調節）	画面にちらつきや縞模様が出ているとき調節します。通常は調節する必要はありません。CLOCK PHASE と合わせてご使用下さい。(23 ページ)
	CLOCK PHASE*2（画面のデジタル処理の調節）	画面にちらつきや縞模様が出ているとき調節します。通常は調節する必要はありません。DOT CLOCK と合わせてご使用下さい。(23 ページ)
	sub menu（サブメニュー）	調節バーを表示します。(23 ページ)
	reset（リセット）	画面のサイズや位置をお買い上げ時の設定に戻します。(23 ページ)
FUNCTION SELECT（機能調節）	**COLOR TEMP.（色温度）**	画像の色温度を調節します。赤みがかったり、青みがかったりしたときに調節します。(25 ページ)
	ASPECT（アスペクト）*3	画面の横縦比を選択します。(25 ページ)
	SIGNAL MODE*4	COMPONENT 入力の時に信号の種類（480i、576i、480p、576p、720p、1080/60i (1035i)、1080/50i）を設定します。通常は「AUTO」にしておきます。(26 ページ)
	RGB/COMPO.*5	RGB B または COMPONENT の入力を選択します。(26 ページ)
	SYNC TERM.*6	接続する機器の出力に応じて、RGB B (BNC) 入力端子の終端抵抗値を切り換えます。(27 ページ)
	reset（リセット）	FUNCTION SELECT の全ての項目をお買い上げ時の設定に戻します。(27 ページ)
STATUS DISPLAY（入力信号表示）		入力端子名と信号の種類を表示します。(28 ページ)

*1 NTSC信号とCOMPONENT信号のときのみ表示され、調節できます。
*2 RGB AまたはRGB B入力選択時のみ調節できます。
*3 COMPONENT入力の720/60p、1080/60i（1035/60i）、1080/50iのときは表示されません。（「FULL」に固定され、切り換えられません。）
*4 COMPONENT入力選択時のみ表示され、調節できます。
*5 RGB BまたはCOMPONENT入力選択時のみ表示され、調節できます。
*6 RGB B入力選択時のみ表示され、調節できます。

セットアップメニュー一覧



SET-UP MENU（セットアップメニュー）	**STATUS DISPLAY（入力信号表示）**	入力を切り換えたときに、入力端子名と信号の種類を表示するかしないかを設定します。（29 ページ）
	CONTROL LOCK（コントロールロック）	本体底面のボタンで操作できないように設定します。（29ページ）
	REMOTE SWITCH	外部制御機器を使用するときの入力の切り換えを設定します。（29 ページ）
	HD SIGNAL MODE（ハイビジョン信号モード）	ハイビジョン信号（1035i と 1080i）を設定します。（30 ページ）
	WHITE BALANCE（ホワイトバランス）	色温度の設定の「HIGH」、「LOW」それぞれについてR、G、Bを細かく調節します。（31 ページ）
	TIMER（タイマー）	現在時刻と、本体の電源を「入」、「切」するタイマーを設定します。（32、33 ページ）
	PIXEL SHIFT（ピクセルシフト）	静止画を表示するときに焼き付きを防止（軽減）するために、一定時間間隔で描画位置をずらします。（33 ページ）
	POWER SAVE	画面の明るさを調節して消費電力を制限します。（34 ページ）
	COLOR-REVERSE（カラーリバース）	静止画を表示して焼き付きなどの残像現象がおこったときに、色反転で軽減することができます。（35 ページ）
	REFRESH（リフレッシュ）	電源を切ったあと残像が出るようなとき、残像を消すのに使います。（36 ページ）
	reset（リセット）	セットアップメニューの項目をお買い上げ時の設定に戻します。（38 ページ）
	all reset（オールリセット）	メインメニューとセットアップメニューの全ての項目をお買い上げ時の設定に戻します。（39 ページ）
	HOUR METER x100h（アワーメーター x100 時間）	合計使用時間を 100 時間単位で表示します。（39 ページ）
	MODEL NAME	お使いのプラズマディスプレイモニターの機種名を表示します。（39 ページ）

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

プラズマディスプレイモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、４０ページの「故障かな? と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品　名	プラズマディスプレイモニター
型　名	GM-V42/GM-V42R
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	（　　）　　–
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　（　　）　　–

愛情点検　●長年ご使用のプラズマディスプレイモニターの点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	➡	ご使用を中　止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

仕様

一般

型名	GM-V42/GM-V42R
フレーム色	シルバー
画面サイズ	42V型ワイド
アスペクト比	16：9（ワイド）
有効画面寸法	横幅93.3 cm×高さ53.3 cm、対角107.4 cm
表示画素数	852（横）×480（縦）
表示色数	約1677万色（RGB各256色）
質量	約35.1 kg
外形寸法	横幅103.5 cm×高さ64.0 cm×奥行8.9 cm　*突起部除く
使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
定格入力電流	2.9 A
対応方式	VIDEO A、B入力　：NTSC COMPONENT入力：480i、576i、480p、576p，720/60p、1080/60i (1035/60i)、1080/50i
音声出力	SPEAKER OUT　：6Ω ～ 8Ω 3W + 3W（TYP、インピーダンス6Ω時）
動作使用条件	温度0℃～40℃　湿度20%～80%（非結露）※動作使用条件は設置環境により多少異なります。

入／出力端子

VIDEO A	・映像入力	BNC端子×1、1V(p-p)/75Ω
	・映像出力	BNC端子×1、1V(p-p)/75Ω
	・音声入力	ピンジャック端子×2（L/R）、500mV(rms)／ハイインピーダンス
VIDEO B	・Y／C入力	Y／C端子×1、　Y：1V(p-p)/75Ω C：0.286V(p-p)/75Ω
	・映像入力	ピンジャック端子×1、1V(p-p)/75Ω
	・音声入力	ピンジャック端子×2（L/R）、500mV(rms)／ハイインピーダンス
COMPONENT/RGB B	・コンポーネント入力（色差信号入力）	BNC端子×3 Y：1V(p-p)/75Ω P_B/B-Y：0.7V(p-p)/75Ω P_R/R-Y：0.7V(p-p)/75Ω
	・RGB入力	BNC端子×5 アナログRGB R：0.7V(p-p)/75Ω G：0.7V(p-p)/75Ω B：0.7V(p-p)/75Ω G on sync：1V(p-p)/75Ω（負極性） 水平同期（HD）/複合同期（Cs） HD：0.3V(p-p)～5V(p-p)/1kΩ（正負極性）/75Ω C_S：0.3V(p-p)～5V(p-p)/1kΩ（正負極性）/75Ω 垂直同期（VD） VD：1V(p-p)～5V(p-p)/1kΩ（正負極性）/75Ω
	・音声入力	ピンジャック端子×2（L/R）、500mV(rms)／ハイインピーダンス
RGB A	・RGB入力	D-sub3列15ピン端子×1 映像信号：0.7V(p-p)/75Ω 水平同期（HD）/複合同期（Cs） HD：0.3V(p-p)～5V(p-p)/470Ω（正負極性） C_S：0.3V(p-p)～5V(p-p)/470Ω（正負極性） 垂直同期（VD） VD：1V(p-p)～5V(p-p)/470Ω（正負極性）
	・音声入力	ステレオミニジャック端子×1、500mV(rms)／ハイインピーダンス
REMOTE	・RS-232C入力	D-sub9ピン端子×1（RS232Cコントロール用）
	・MAKE入力	ミニDIN 4ピン
	・WIRED入力	ステレオミニジャック端子×1（リモートコントロール用）
AUDIO OUT（音声出力）		ピンジャック端子×2（L/R）、出力インピーダンス600Ω
OPTION		ビクター製のオプション品専用
SPEAKER OUT（スピーカー出力）		スピーカー出力端子（L/R）、インピーダンス6Ω～8Ω

- このモニターを使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- モニターのV型(42V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 記載の商品や名称（IBM、Macintosh、PC98等）は、各社の商標、または登録商標です。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「家電･汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

輸送上のお願い

本機は、精密機器のため輸送時には専用の包装材が必要になります。
当社以外の包装材は、使用しないでください。

オプション品

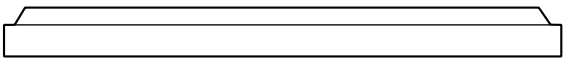
モニタースタンドユニット	：TS-C420P1、TS-C420P5
ウォールマウンティングユニット	：TS-C420P2、TS-C420P6、TS-C420P8、TS-C420P9
モニターハンガーユニット	：TS-C420P3
冷却ファン	：TS-C01FAN
スピーカーユニット	：TS-C421SP

＊上記以外にもオプション品がある場合がございます。詳細については販売店にお問い合わせください。

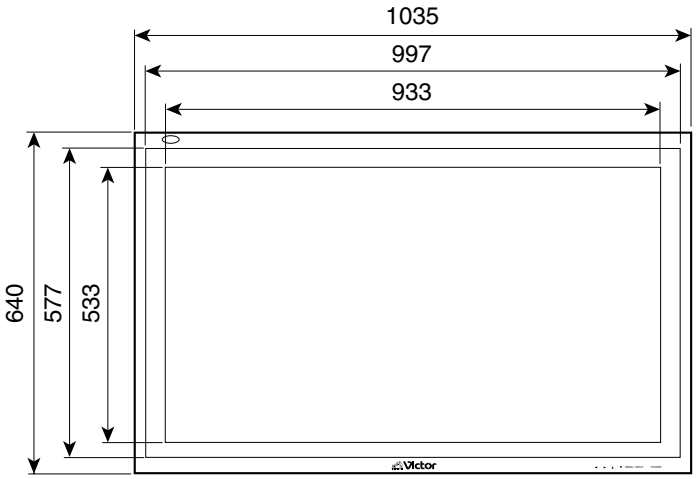
外形寸法図

(単位：mm)

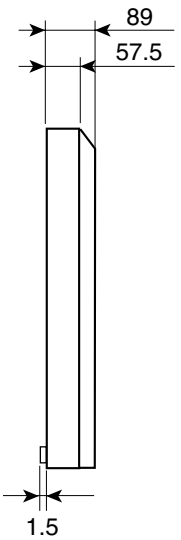
■上面



■前面

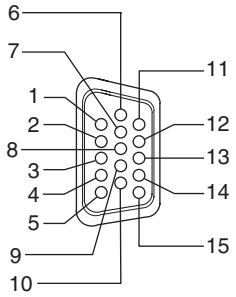


■側面



RGB入力端子

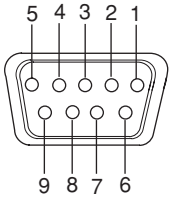
パソコンのモニター(アナログRGB)出力端子と接続します。



ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	ー
2	緑	10	グランド
3	青	11	グランド
4	ー	12	ー
5	グランド	13	水平同期(HD)/ 複合同期(Cs)
6	グランド	14	垂直同期(VD)
7	グランド	15	ー
8	グランド	外面	グランド

RS-232C端子[ご注意：端子はメスです。]

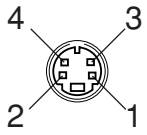
パソコンのRS-232C端子と接続します。



ピン番号	信号
1	DCD (Data Carrier Detect)
2	RD (Receive Data)
3	TD (Transmit Data)
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	GND (Ground)
6	DSR (Data Set Ready)
7	RTS (Request To Send)
8	CTS (Clear To Send)
9	RI (Ring Indication)

Y／C入力端子

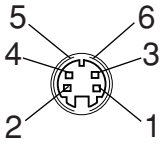
ビデオデッキなどのS映像出力端子と接続します。



ピン番号	信号
1	グランド（Y）
2	グランド（C）
3	Y
4	C

MAKE端子

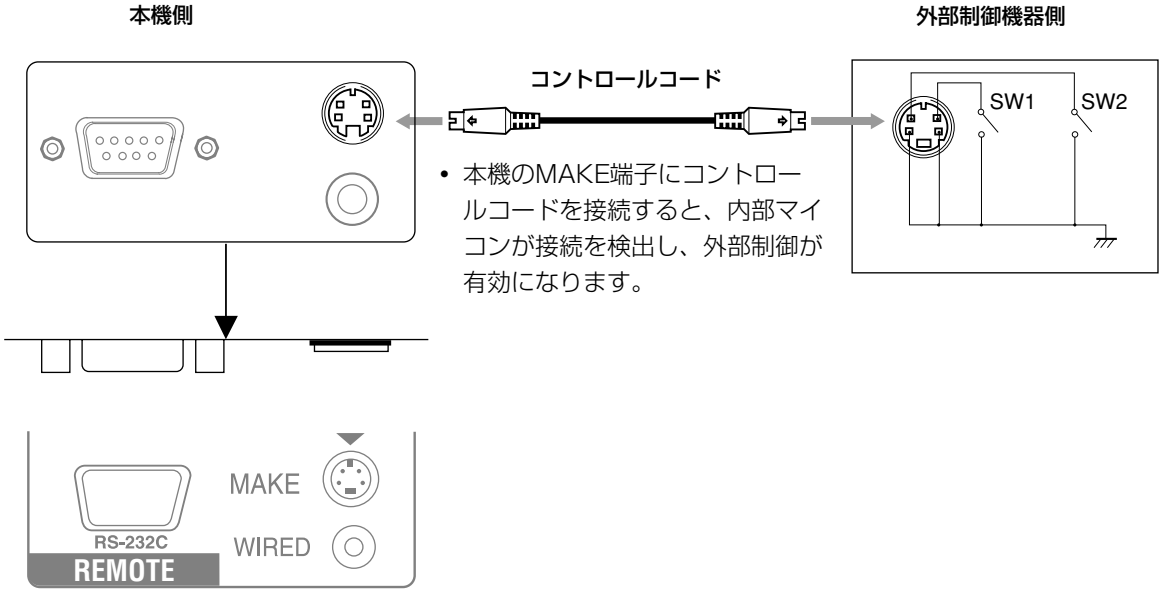
外部制御機器と接続します。



ピン番号	信号
1	グランド
2	グランド
3	スイッチ 2
4	スイッチ 1
5	スイッチ DET
6	グランド

MAKE端子と外部制御機器の接点について

本機のMAKE端子に外部制御機器を接続して、本機の電源の「入／切」、入力切り換えを行うことができます。
ここでは外部制御機器を制作するための情報をまとめてあります。



SW1、SW2の接点切り換えの動作

コントロールコードを接続したあとに、外部制御機器のSW1またはSW2を開閉すると、本体内部のマイコンが電圧変動を検出し、電源の「入／切」または入力切り換えを行います。このときの入力切り換えは、セットアップメニューの「REMOTE SWITCH」で選択されているMODE1から6により組み合せが決まります。（29ページ）
また、コントロールコードを接続すると、外部制御の優先順位は
MAKE端子接続＞RS-232C端子接続＞本体ボタン／付属のリモコン
となります。

SWの開閉と動作

SW	開	閉
SW1	電源「切」	電源「入」
SW2	入力A	入力B

各MODEと切り換えを行う入力の対応

モード	入力A	入力B
MODE1	VIDEO A	VIDEO B
MODE2	VIDEO A	COMPONENT/RGB B
MODE3	VIDEO A	RGB A
MODE4	VIDEO B	COMPONENT/RGB B
MODE5	VIDEO B	RGB A
MODE6	COMPONENT/RGB B	RGB A

メモ

GM-V42/GM-V42R プラズマディスプレイモニター

ご相談や修理は	
ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、 お買い上げの販売店にご相談ください。 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。	
修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
46ページをご覧ください。	フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話　(03) 5684−9311** **FAX　(03) 5684−9317** 〒113-0033　東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2004 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

0104MKH-MW-VP